

第6次福島県総合教育計画 令和2年度アクションプラン



令和2年3月

福島県・福島県教育委員会

【 目 次 】

第6次福島県総合教育計画の基本理念	1
第6次福島県総合教育計画の3つの基本目標と20の施策	1
「頑張る学校応援プラン」(重視する観点)と関連事業	2
第6次福島県総合教育計画 アクションプランの位置づけ	5
教育施策推進のロードマップ	5
第6次福島県総合教育計画 令和2年度アクションプランの主な新規事業 各施策の事業等	6
基本目標1 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成	
(1) 子どもたちの豊かなこころをはぐくみます	7
(2) 子どもたちの健やかな体をはぐくみます	11
(3) 子どもたちの生き抜く力を支える「確かな学力」を身につけさせます	13
(4) 望ましい勤労観・職業観をはぐくみます	17
(5) 障がいのある子どもたちが「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進します	20
(6) 高度情報化社会を主体的に生きていく力をはぐくみます	23
(7) 国際化の進展に対応できる人づくりを進めます	25
(8) 公立大学において、社会をリードし、地域に貢献する人づくりを進めます	28
基本目標2 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現	
(9) 地域全体で子どもたちを教え育てる取組を支援します	29
(10) 家庭における教育を支援します	31
(11) 生涯を通して学習し、その成果が生きる環境を整備します	32
(12) 自然に親しみ、自然を尊重するところをはぐくみます	34
(13) 地域に根ざした伝統文化を保存・継承し、地域を愛するところをはぐくみます	35
基本目標3 豊かな教育環境の形成	
(14) 教員の資質の向上を図ります	36
(15) 一人一人の子どもに教員が向き合うことができる環境を整備します	38
(16) 透明性の高い、開かれた教育を推進します	40
(17) 安全で安心できる学習環境の整備を促進します	42
(18) 地域における身近な文化・スポーツ環境を整備します	46
(19) 私立学校の振興を図ります	49
(20) 社会情勢や環境の変化に対応した学校づくりを推進します	53
事業名索引 (五十音順)	57
事業名索引 (担当課室別)	63

表紙に掲載の写真

左上：チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業

右上：岩瀬農業高校 GLOBAL G.A.P. 継続・追加認証審査会

『ふくしまの未来』へつなぐ体験応援事業成果発表

左下：未来を担うトップリーダー！先端技術体験

右下：特別支援学校作業技能大会～夢に向かってテクノチャレンジ2019～

第6次福島県総合教育計画の基本理念

平成23年3月、本県は、東日本大震災・原子力災害により、多くの県民が家族を失うとともに、生まれ育った土地を離れた避難生活を余儀なくされるなどの深刻な被害を受けました。

これら未曾有の災害の中にあつて、困難に直面しながらも秩序や礼節を失わず、復興・再生に向けて冷静に行動する人々の姿に世界から賞賛の声が寄せられました。また、地域住民やボランティアなどが中心となり、支え合いや助け合いが行われ、地域の絆の重要性を広く認識させることになりました。こうした温かな県民性や堅固な地域の絆は、本県の歴史や文化、豊かな自然環境の中で育まれてきたものであって、福島県民の誇りであり、財産であり、復興・再生の糧となるものです。これらを大事に守り育て、後の世代に伝えていくことが我々に与えられた責務であり、子どもたちも、ふくしまで生まれたことを誇りに思いながら大人に成長していくことを望んでいるはずです。

震災後、本県の目指す教育は、この責務を果たし、子どもたちの夢や希望を実現するものでなければなりません。

平成22年3月に策定した第6次福島県総合教育計画では、次の基本理念を掲げました。

【基本理念】“ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり

同計画では、この基本理念を掲げることで、県全体で共有すべき「想い」を次のように記しています。

本県には、温かい県民性やお互いを支え合う地域社会の絆、恵まれた自然環境や優れた文化・伝統、7つの生活圏や「はま・なか・あいづ」に象徴される多様性などの特性があります。

この特性を生かしながら、学校、家庭、地域が連携・協力し、県民が一体となって豊かな教育環境を形成し、ハーモニーを奏でるように人づくりを進めていきたい。

そして、ふくしまの子どもたちが、豊かな人間性、社会性を身につけ、活気に満ち、社会に貢献しながら自立して人生を切り拓いていくための「確かな学力」と「健やかな体」を持つ、創造力にあふれた「こころ豊かなたくましい人」に育ってほしい。

震災前に掲げた基本理念ではありますが、この想いは、東日本大震災・原子力災害からの復興を担う本県の人づくりにとって、震災前にもまして必要とされているものです。東日本大震災・原子力災害を経た本県において、震災前と同じ基本理念を敢えて継続して掲げることで、そこに込められた想いを改めて示すとともに、この理念を実現するため、震災等を踏まえた新たな教育施策を積極的に盛り込み、生まれ育った郷土に対する愛着と誇りを持った、ふくしまの復興を共に支え、共に歩んでいく人づくりを力強く推進してまいります。

第6次福島県総合教育計画の3つの基本目標と20の施策

基本目標1 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成

- 施策1 子どもたちの豊かなこころをはぐくみます
- 施策2 子どもたちの健やかな体をはぐくみます
- 施策3 子どもたちの生き抜く力を支える「確かな学力」を身につけさせます
- 施策4 望ましい勤労観・職業観をはぐくみます
- 施策5 障がいのある子どもたちが「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進します
- 施策6 高度情報化社会を主体的に生きていく力をはぐくみます
- 施策7 国際化の進展に対応できる人づくりを進めます
- 施策8 公立大学において、社会をリードし、地域に貢献する人づくりを進めます

基本目標2 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現

- 施策9 地域全体で子どもたちを教える取組を支援します
- 施策10 家庭における教育を支援します
- 施策11 生涯を通して学習し、その成果が生きる環境を整備します
- 施策12 自然に親しみ、自然を尊重するところをはぐくみます
- 施策13 地域に根ざした伝統文化を保存・継承し、地域を愛するところをはぐくみます

基本目標3 豊かな教育環境の形成

- 施策14 教員の資質の向上を図ります
- 施策15 一人一人の子どもに教員が向き合うことができる環境を整備します
- 施策16 透明性の高い、開かれた教育を推進します
- 施策17 安全で安心できる学習環境の整備を促進します
- 施策18 地域における身近な文化・スポーツ環境を整備します
- 施策19 私立学校の振興を図ります
- 施策20 社会情勢や環境の変化に対応した学校づくりを推進します

「頑張る学校応援プラン」(重視する観点) と関連事業

- 「頑張る学校応援プラン」は、第6次福島県総合教育計画の後半4年間の取組を加速させるために必要な教育政策の骨太の方向性と、必要な主要施策を打ち出したプランです。
- 「頑張る学校応援プラン」に掲げた5つの主要施策を、第6次福島県総合教育計画で毎年度定めることとする「重視する観点」として、課題に応じた「手立て」を戦略的に実行します。

1 強化戦略

主要施策1 学力向上に責任を果たす

本県の学力の現状に危機感と責任感を持ち、教育委員会を挙げて対処する！

- 授業の質の向上を基軸にした学力向上
- 新学習指導要領を踏まえつつ、本県独自の取組を実施

新規 県重点	事業名称	掲載頁	担当課室
	人権教育開発事業(ピュアハートサポートプロジェクト)	7	義務教育
	ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト	10	社会教育
	学校すこやかプラン	12	健康教育
[-新]	一人一人を伸ばすふくしま学力向上推進事業	13	義務教育
	「ふくしま活用力育成シート」実践事業	13	義務教育
(新)	ふくしまの学校キラリ学力向上プロジェクト	14	義務教育
(新)	オールふくしま学力向上推進事業	14	高校教育
	未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業	15	義務教育
[-新]	地域と共に創る放射線・防災教育推進事業	16	義務教育
	ふくしまの未来を拓く産業人材育成事業	18	高校教育
	ふくしまで生活基盤を築くための高校生支援事業	18	高校教育
	ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業	18	高校教育
(新)	新時代の学校におけるICT環境研究開発事業	23	教育総務
(新)	GIGAスクール構想実現事業	23	教育総務
	教育用コンピュータ整備事業	24	施設財産
[-新]	英語でつなぐ復興の架け橋支援事業	25	高校教育
	グローバル人材を育成する英語教育強化事業	26	高校教育
	語学指導等を行う外国青年招致事業	26	高校教育
	少人数教育推進事業	53	義務教育

主要施策2 教員の指導力、学校のチーム力の最大化

教育委員会と管理職は、教職員の持てる力を最大化するための手立てを惜しまない！

- 管理職の学校マネジメント力の強化
- 教職員の働き方の見直しを推進
- 教員間の学び合いによる資質向上
- 学校のチーム力の強化

新規 県重点	事業名称	掲載頁	担当課室
	学校すこやかプラン	10	健康教育
	児童生徒の体力向上推進事業	12	健康教育
[-新]	一人一人を伸ばすふくしま学力向上推進事業	13	義務教育
	「ふくしま活用力育成シート」実践事業	13	義務教育
(新)	ふくしまの学校キラリ学力向上プロジェクト	14	義務教育
(新)	オールふくしま学力向上推進事業	14	高校教育
	未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業	15	義務教育

新規 県重点	事業名称	掲載頁	担当課室
	県立学校IT環境整備事業	23	教育総務
[-新] 県	統合型公務支援システム整備事業	24	教育総務
	グローバル人材を育成する英語教育強化事業	26	高校教育
	教職員の資質向上に向けた研修の充実	36	義務教育 高校教育 特別支援教育
	優秀教職員による学校のチーム力向上事業	37	職員
	優秀教職員表彰制度	37	職員
[-新] 県	福島スクール・サポート・スタッフ事業	38	義務教育
	部活動指導員配置促進事業	38	健康教育
	学校評議員制度の導入の促進	40	義務教育
	学校評価の充実	40	義務教育
	学校評議員による学校関係者評価の実施	40	高校教育 特別支援教育
	新任校長・副校長・教頭・主幹教諭研修会	40	義務教育 高校教育 特別支援教育 健康教育
	校長・教頭のためのマネジメント講座	40	高校教育 義務教育 特別支援教育

主要施策3 地域と共にある学校

学校任せではなく、保護者やPTAを含む地域社会と学校が一体となって子どもを育てる。学校も地域に貢献！
 ○地域と学校が協働することで、地域も元気になり、教員が子どもと向き合う時間も確保（地域と学校がWIN-WINに）

新規 県重点	事業名称	掲載頁	担当課室
	県 チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業	8	社会教育
	県 ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト	10	社会教育
	県 ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト	11	健康教育
	児童生徒の体力向上推進事業	12	健康教育
	県 地域と共に創る放射線・防災教育推進事業	16	義務教育
[-新] 県	未来へつなぐ子育て・教育充実事業	20	特別支援教育
	県 夢に向かってテクノチャレンジ事業	22	特別支援教育
[-新] 県	地域学校協働本部事業	29	社会教育
	県 福島県地域学校協働本部事業	29	社会教育
	県 地域でつながる家庭教育応援事業	31	社会教育
[-新] 県	福島スクール・サポート・スタッフ事業	38	義務教育
	県 部活動指導員配置促進事業	38	健康教育
	学校評議員制度の導入の促進	40	義務教育
	学校評議員による学校関係者評価の実施	40	高校教育 特別支援教育
⑧	県 ふくしま創生人財育成事業	54	高校教育
	県 県立高校コミュニティ・スクール推進事業	54	高校教育

2 復興戦略

主要施策4 ふくしまの未来に向けた創造的復興教育

課題先進地であるからこそ、地域に根ざしたふくしま発の未来創造型教育を推進し、課題解決能力や社会的実践力を育成！

- 課題探究型学習などにより「志」を育み、復興・地方創生の担い手育成
- 小中学校の再開支援と地域コミュニティの再生

新規 県重点	事業名称	掲載頁	担当課室
県	道徳教育総合支援事業(ピュアハートサポートプロジェクト)	7	義務教育
県	チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業	8	社会教育
	オリンピック・パラリンピック教育推進事業	11	健康教育
県	未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業	15	義務教育
県	福島イノベーション人材育成支援事業	17	高校教育 イノベ機構
県	福島イノベーション人材育成実践事業	17	高校教育
県	ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業	18	高校教育
県	福島イノベーション人材育成広域連携事業	18	高校教育
県	ふくしま未来の農業者 GAP 教育実践事業	19	高校教育
一新	英語でつなぐ復興の架け橋支援事業	24	高校教育
新	地域との協働による高等学校教育改革推進事業	25	高校教育
県	双葉地区教育構想(国際人育成プラン)	27	高校教育
一新	ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業	31	社会教育
県	ふたば未来学園中学校・高等学校整備事業	53	施設財産
一新	ふたば未来学園運営管理事業	53	県立高校改革
県	小高統合高等学校教育環境整備事業	54	県立高校改革
県	福島県教育復興推進事業	54	県立高校改革 義務教育 イノベ機構
	福島県教育復興推進事業(12市町村教育復興推進事業)	54	イノベ機構
新	ふくしま創生人財育成事業	54	高校教育
	学校改革推進事業	55	県立高校改革

主要施策5 学びのセーフティネットの構築

心が動けば、頭も体も動く。その前提となる安心して学び、遊ぶことができる環境づくり！

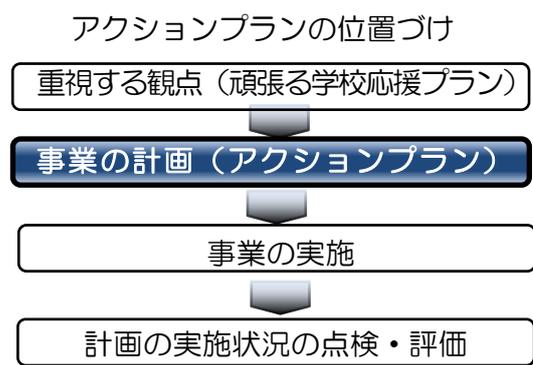
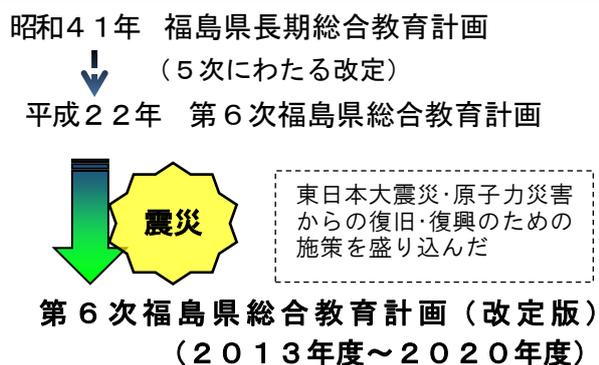
- 子どもたちの心のケア、特別支援教育など安心して学べる環境
- 経済状況で学びを断念することのないよう支援

新規 県重点	事業名称	掲載頁	担当課室
県	チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業	8	社会教育
県	不登校・いじめ等対策総合推進事業(ピュアハートサポートプロジェクト)	8	義務教育
県	教育相談推進事業(ピュアハートサポートプロジェクト)	9	義務教育
県	スクールカウンセラー活用事業(ピュアハートサポートプロジェクト)	9	高校教育
県	ふくしま未来キッズワクワクプロジェクト	11	社会教育
県	ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト	11	健康教育
一新	ふくしまから はじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業	12	健康教育

新規 県重点	事業名称	掲載頁	担当課室
一新 県	未来へつなぐ子育て・教育充実事業	20	特別支援教育
	身体に障がいのある生徒に対する支援事業	21	特別支援教育
	高等学校学習支援推進事業	21	特別支援教育
	特別支援学校における医療的ケア実施事業	22	特別支援教育
	教員研修の充実	22	特別支援教育
県	夢に向かってテクノチャレンジ事業	22	特別支援教育
県	地域学校協働本部事業	29	社会教育
	夜間中学調査・研究事業	32	義務教育
県	大規模改造事業	43	施設財産
県	県有施設維持補修事業	43	施設財産
一新 県	被災児童生徒等修学支援事業	43	義務教育
県	高校等奨学資金貸付事業	44	高校教育
県	大学等奨学資金貸付事業	44	高校教育
	高校等奨学資金給付事業	44	高校教育
	特別支援学校特別支援教育就学奨励費	44	特別支援教育
	県立学校空調設備整備事業	45	施設財産
県	学校給食安全・安心対策推進事業	45	健康教育
県	聴覚支援学校寄宿舎整備事業	53	施設財産
一新 県	特別支援学校整備事業	56	施設財産
一新	県立特別支援学校学習環境整備事業	56	特別支援教育
	復旧・復興の基盤づくりのための教員配置	56	義務教育

第6次福島県総合教育計画 アクションプランの位置づけ

- 本県では昭和41年以来、6次にわたり総合教育計画を策定してきており、平成22年に策定した現行の第6次福島県総合教育計画は、東日本大震災を経て、平成25年度に改定しました。
- 第6次福島県総合教育計画では、毎年「重視する観点」を定め、これに基づき実施する事業を明らかにすることとしており、進捗状況を点検・評価し、計画の適切な運用に努めることとしています。
- 今年度実施する私学教育や大学教育も含めた学校教育、社会教育、生涯学習、文化及びスポーツに関する実施事業等を施策別に体系的に示すものが、2019年度アクションプランです。



教育施策推進のロードマップ



第6次福島県総合教育計画 令和2年度アクションプラン 主な取組

主要施策1 一人一人を伸ばすふくしま学力向上推進事業（義務教育課）

「ふくしま学力調査」実施により児童生徒一人一人の学力の伸びをきめ細かく把握し、調査結果に基づく指導の工夫・改善により、子どもたちの学力向上を着実に図ります。

「ふくしま学力調査」の特長
さまざまな難易度の問題を
散りばめた学力調査を継続
して実施することにより、
子どもたちひとりひとりの
学力の伸びを把握すること
ができる。

	小4	小5	小6	中1	中2
レベル12					
レベル11					
レベル10					
レベル9					
レベル8					
レベル7					
レベル6					
レベル5					
レベル4					
レベル3					
レベル2					
レベル1					

主要施策1 オールふくしま学力向上推進事業（高校教育課）

（R元までは アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業）

難関大学への進学を志望する生徒を対象として合同学習会を開催し、生徒の志を高めるとともに、各校における理数教育や思考力等を育む取組を支援することで、本県で学ぶ高校生の学力向上を推進します。



オールふくしまリーダー
育成プロジェクト

主要施策1 新時代の学校におけるICT環境研究開発事業（教育総務課） GIGAスクール構想実現事業（教育総務課）

県立学校を対象に、新学習指導要領及び新時代の学びに必要なICT環境の整備を進めるため、指導力向上開発校を中心に、指導法の開発・検証や事例の蓄積を行います。県立学校に無線LAN環境を導入するとともに、義務教育段階の児童生徒1人1台端末の整備を支援します。

主要施策2 ふくしまの学校キラリ学力向上プロジェクト（義務教育課）

（R元までは 「学びのスタンダード」進化プロジェクト）

教育実践拠点校（キラリ校）を創設し、エビデンス・データに基づいた成果や有用性について、それぞれの学校と共有を図り、県内全ての学校が、学力向上においてキラリと輝く学校になることを目指します。また、RST研究協力校の実践を基に指導法やカリキュラムの開発に取り組み、児童生徒の基礎的読解力の向上を図ります。

主要施策3 ふくしま創生人財育成事業（高校教育課）

全県立高等学校で地域課題探究活動を推進するため、会津地区の拠点校2校に「地域コーディネーター」を配置し、探究学習を充実させます。また、その成果を高校生による「ふくしま創生サミット」や「社会貢献活動コンテスト」などで発信します。

主要施策4 英語でつなぐ復興の架け橋支援事業（高校教育課）

（R元までは 未来を担う高校生海外研修・グローバル支援事業）

将来、本県復興を担う福島の高校生が、故郷である福島について世界の人々に英語で的確に伝えられるよう深く学習する姿勢を育むとともに、海外研修で学んだ見識を、本県復興のために積極的に提言できるような高いコミュニケーション能力をもったグローバルな人材を育成します。

主要施策5 特別支援学校整備事業（施設財産室）

特別支援学校への入学を希望する児童生徒による教室の過密化や、遠距離からの通学による児童生徒への負担軽減を図るため、聴覚支援学校福島校、相馬支援学校、伊達地区特別支援学校を整備し、教育環境を充実させます。

各施策の事業等

基本目標 1 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成

(1) 子どもたちの豊かなところをはぐくみます

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 子どもたちの豊かな情操や規範意識、公共の精神、他を思いやる優しさなどを育む観点から、学校を中心として、家庭や地域と一体となって道徳教育の充実を図るとともに、自然体験や集団宿泊体験などのさまざまな体験活動を進めます。
- ・ いじめ、不登校等の問題の未然防止や早期対応が可能となるよう、少人数教育によるきめ細かな指導や教員の研修を充実するとともに、児童生徒の発達の段階に応じた、いのちやこころを大切にする性に関する指導の充実や男女共同参画社会の形成に向けた教育を進めます。
- ・ 人間形成の基礎を培う幼児教育を進めるとともに、学校と地域が連携した子どもの読書活動を進めます。

[東日本大震災・原子力災害を経て]

- ・ 被災して不安な思いを強めている多くの子どもの心身や生活面について十分な支援を行うとともに、改めて認識した「いのちの尊さ」「家族の絆」などを考えさせる教育を推進します。

※凡例 (新)：新規事業 [新]：新規内容を一部付加した事業 [県]：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号）
 R2 当初予算額（ ）内は 大事業の中の内数

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位：千円)	担当課室
道徳教育の充実		[県]	道徳教育総合支援事業（ピュアハートサポートプロジェクト）	H24～	8,973	義務教育
		④	大震災の経験を踏まえ、「いのち」、「家族愛」、「郷土愛」等について系統的に学ぶため、福島独自の読み物資料の活用を促進したり、ゲストティーチャーを学校に派遣したりすることにより道徳教育を推進し、今後の福島県の復興を担い未来を創っていく児童生徒を健全に育成する。 小事業：学校の教育活動（全体）を通じた道徳教育の充実 道徳科を要として学校の教育活動全体を通じた道徳教育を推進するとともに、家庭や地域との連携も図りながら、児童生徒の道徳性を育成する。			義務教育
			小事業：道徳教育総合支援事業 新学習指導要領の趣旨や内容、児童生徒、学校等の実態を踏まえ、創意工夫を生かした道徳教育を推進するための実践研究を行う。また、その成果を普及させることにより道徳教育の充実を図る。	H24～	(8,973)	義務教育
		[県]	人権教育開発事業（ピュアハートサポートプロジェクト）	H24～	1,010	義務教育
		①	人権意識を培うための学校教育の在り方について幅広い観点から実践的な研究を行い、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実を図る。			

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位:千円)	担当課室
体験活動の推進		県	チャレンジ!子どもがふみだす体験活動応援事業 ③ 東日本大震災の経緯を踏まえ、子どもたちが充実した自然体験活動等を行う機会をとおして、心身ともに健康で豊かな人間性を育成するとともに、社会体験活動をとおして、主体的に復興に寄与するたくましい子どもたちの育成を図る取組を支援する。 児童生徒の発達段階に応じた体験活動の推進 特別活動や総合的な学習の時間などにおいて、児童生徒の発達段階に応じた体験活動やさまざまな交流活動などを行うことにより、学ぶ意欲や自立心、思いやりのこころ、規範意識などを身につけさせる。	H31~	289,309	社会教育
		☆	震災原発の経験・教訓、復興状況伝承事業 (ジャーナリストスクール開催事業) 子どもたちが、震災の経験や教訓、復興に向けての取り組みを学び、本県の未来やよさなどについて自ら考え、ふるさと「ふくしま」への誇りや愛着心を育む。県内で復旧・復興に取り組んでいる個人や団体等に対し取材を行い新聞にまとめ、県内外だけでなく世界に「ふくしま」を発信する。	H31~	4,665	生涯学習
		新	ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業 ④ (再掲 31頁) 自然の家の利用促進 (再掲 34頁)	H28~ S47~	2,740	社会教育 社会教育
少人数教育によるきめ細かな指導【再掲 P53】		①	少人数教育推進事業 (再掲 53頁)	H14~	5,842,993	義務教育
		☆	私立小中学校少人数教育推進事業補助金 (再掲 49頁)	H14~	22,400	私学・法人
教育相談体制の整備		県	不登校・いじめ等対策総合推進事業 (ピュアハートサポートプロジェクト) ⑤ 東日本大震災・原発事故以降、不登校等生徒指導上の諸課題やいじめ等の問題行動の原因が複合化・多様化していることから、学校と関係機関が連携・協力できる体制を整え、効果的な援助体制の充実を図る。	H28~	2,976	義務教育

今後の 取組	新規 重点 所管	主 要 事 業 等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位：千円)	担当課室
教育相談 体制の整備 (続き)	県 ⑤	教育相談推進事業 (ピュアハートサポートプロジェクト) 小事業：学校教育相談員活動経費 教育センターに2名の学校教育相談員を配置する。 小事業：緊急時カウンセラー派遣事業 重大な事故や事件、災害等の初期対応に当たる。 小事業：スクールソーシャルワーカー派遣事業 社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置して関係機関と連携することにより、被災した児童生徒の心のケア及び生活のケアに当たる。 小事業：スクールカウンセラー派遣事業 大震災で被災した小・中学校等の児童生徒等の心のケアや、教職員に対するコンサルテーションに当たる。 小事業：ふくしま24時間子どもSOS電話相談事業 いじめ問題やその他の子供のSOS全般に悩む子どもや保護者等が、いつでも相談機関に相談できるよう、24時間電話相談体制を整備する。	H9~ H9~ H9~ H23~ H24~ H28~	561,359 (2,576) (1,458) (116,426) (403,936) (8,274)	義務教育 義務教育 義務教育 義務教育 義務教育 義務教育
	県 ⑤	スクールカウンセラー活用事業 (ピュアハートサポートプロジェクト) 小事業：スクールカウンセラー活用事業(高等学校) 小事業：緊急時スクールカウンセラー派遣事業(災害分) 大震災で被災した高等学校の生徒等の心のケアや、教職員に対するコンサルテーションに当たる。 小事業：生徒指導アドバイザー派遣事業 生徒指導の諸問題の未然防止や的確な対応のための支援などを行う。 小事業：いじめ問題対策委員会事業 いじめ防止等の対策について調査審議を行なうことや、いじめやいじめによる重大事態における調査及び支援を行なう。 小事業：生徒の心のサポートのための学習支援事業 震災によるつらい体験により、安定した生活環境や学習環境を取り戻せていない生徒に対して、心のサポートに資する学習支援を行う。 小事業：SNSを活用した子どもの心サポート事業 いじめを含め、さまざまな悩みを抱える児童生徒に対して、SNSを活用した相談体制を整備し、問題の深刻化を未然に防止する。	H19~ H19~ H24~ H27~ H29~ H29~ H30~	135,588 (24,103) (50,361) (16,473) (272) (26,090) (18,289)	高校教育 高校教育 高校教育 高校教育 高校教育 高校教育 高校教育
	県 ☆	緊急スクールカウンセラー等派遣事業 (スクールカウンセラー等派遣事業) 東日本大震災により被災した私立学校等の児童生徒等の心のケアなどに当たるため、スクールカウンセラーの派遣を実施する。	H23~	29.082	私学・法人

今後の取組	新規 重点 所管	主 要 事 業 等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位：千円)	担当課室
いのちや こころを 大切にする 性に関する 指導の充実	①	学校すこやかプラン	H19~	1,729	健康教育
		② 児童・生徒の現代的健康課題を解決するため、地域の保健関係機関や保護者等との効果的な連携を図り、支援体制の整備充実や健康教育担当教員の資質向上に係る研修会を開催する。 小事業：健康教育推進者研修会 現代的健康課題に関する指導者育成のための研修会を開催する。 小事業：福島県がん教育実践事業（再掲12頁）	H27~	(132)	健康教育
			H31~	(1,597)	健康教育
男女共同 参画社会 の形成に 向けた 教育の推進	☆	次世代スクールプロジェクト事業 小・中・高等学校・特別支援学校等と連携授業を実施する。	H31~	259	男女共生
	☆	教師のための次世代育成人権セミナー 教職員に対して男女共同参画を総合的に学ぶ機会を提供する。			男女共生 センター (高校教育)
幼児教育 の推進	①	幼児教育充実支援事業 小学校教育以降の基礎となる幼児教育の質向上に資する研修への参加及び研修支援を行う。	R2~	1,978	義務教育
	県	私立幼稚園子育て支援推進事業（再掲50頁）	H17~	405,700	私学・法人
	☆	私立幼稚園心身障がい児教育費補助金(再掲50頁)	S56~	288,904	私学・法人
子どもの 読書活動 の推進	県	ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト	H28~	3,008	社会教育
	①	第四次「福島県子ども読書活動推進計画」をもとに、読書活動推進のために、次の事業等を展開する。 小事業：読書活動推進事業 読書活動推進委員会による、第四次「福島県子ども読書活動推進計画」の進行管理等を行う。 小事業：読書活動支援者育成事業 県内各地域で活躍できる読書活動支援者を育成することにより、より良い読書環境づくりを進める。 小事業：発達段階に応じた読書活動の推進事業 乳幼児期から高校期にかけて発達段階に応じた適切な読書活動の支援ができるよう研修会を実施する。 小事業：情報発信プロジェクト 中・高校生の不読率改善や情報発信能力の向上を図るために、ビブリオバトル大会を実施する。			
	③	学校図書館活動の支援 学校図書館における学習活動及び読書活動を支援するため、資料の貸出や情報の提供を行う。			社会教育
豊かな こころを 育成する ための 普及啓発 活動の推進		ふくしま子ども憲章推進事業 子どもたちの、子どもたちによる、子どもたちのための宣言として制定した「ふくしま子ども憲章」を、児童生徒だけではなく、広く県民へ普及啓発を行う。	H16~		教育総務

(2) 子どもたちの健やかな体をはぐくみます

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 子どもたちの体力・運動能力を向上させ、生涯にわたって積極的にスポーツに親しむ習慣や意欲、能力を育成するため、外部指導者の活用などにより、教科体育及び運動部活動の充実を図ります。
- ・ 総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団などの地域のスポーツ団体との連携を図るとともに、地域のスポーツ団体による学校への協力・支援体制づくりを進めます。
- ・ 栄養バランスのとれた食事をとるなどの望ましい食習慣や、食生活を実践していく力や感謝の心を育む食育を学校、家庭、地域との協働により推進します。
- ・ 児童生徒が自ら生涯にわたり健康の保持増進を図ることができるよう、健康教育を推進します。

【東日本大震災・原子力災害を経て】

- ・ 震災等による心身の発育・発達への影響や体力・運動能力への影響に対する取組及び放射線と食の安全性や健康課題についての学習活動を推進します。
- また、関係機関と連携しながら、子どもたちの健康を守る教育を推進します。

※凡例 **新**：新規事業 **一新**：新規内容を一部付加した事業 **県**：県重点事業 **☆**：知事部局所管事業
 R2当初予算額（ ）内は
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号）
 大事業の中の内数

今後の取組	新規 重点 所管	主要事業等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位：千円)	担当課室
体力の向上 に関する 取組の充実	県 ⑤	ふくしま未来キッズワクワクプロジェクト 自然の家においてアスレチック等の様々な体験活動を楽しめる事業を開催して自然体験や体を動かすことの魅力を伝え、運動不足解消や体力増進につなげる。	H28～	14,267	社会教育
	県 ③ ⑤	ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト 小事業：元気キッズサポーター事業 震災の影響で幼少期に外遊びの制限等があった子どもたちの運動能力向上を図るため、「相双地区」の地域の実情に応じた取組を実施する。	H27～ H28～	38,287 (2,669)	健康教育 健康教育
		小事業：自分手帳活用事業 自分手帳を活用し、家庭と連携しながら体力向上等に向けた取組を実施する。	H27～	(6,038)	健康教育
		小事業：専門アドバイザー派遣事業 運動の楽しさ等を実感させるとともに、教員の指導力向上と体育授業の充実を図るため、小学校に体育専門アドバイザーを派遣する。	H27～	(25,484)	健康教育
		小事業：体力向上ムーブメント事業 体力向上に対する意識の高まりと肥満解消を目的に「なわとびコンテスト」を実施する。	H28～	(1,613)	健康教育
		小事業：ふくしまっ子体力向上プロジェクト推進事業 子どもたちの体力向上に向け、児童期運動指針等の活用方法について検討を行うと共に、「学校における肥満対応ガイドライン」を活用した研修会を実施する。	H27～	(1,449)	健康教育
		小事業：食習慣・肥満等の健康教育に係る専門家派遣事業 健康課題の解決や健康教育の充実を図るため、学校に栄養教諭等を派遣し指導を行う。	H28～	(1,034)	健康教育
	県 ④	オリンピック・パラリンピック教育推進事業 各学校で、オリンピック・パラリンピック教育を実施・展開し、県全体へのオリンピック・パラリンピック・ムーブメントの機運醸成を図るとともに、スポーツの価値や国際・異文化の理解等の多面的な教育を通じて児童生徒の育成を図る。	H30～	6,286	健康教育

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位:千円)	担当課室
体力の向上に関する取組の充実(続き)		②	児童生徒の体力向上推進事業(再掲12頁)	H18~	290	健康教育
		☆	認定こども園等の環境整備等事業(幼児教育の質の向上のための緊急環境整備)(再掲36頁)	H25~	26,000	私学・法人
地域のスポーツ団体による学校への協力・支援体制づくり		②	児童生徒の体力向上推進事業	H18~	290	健康教育
		③	小・中・高等学校の教員に対し、体育授業等における指導力向上のための研修を行う。また、学習指導要領により必修となっている武道やダンスの指導に地域の人材を活用する。			
食育の推進	-新	県	⑤ ふくしまからはじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業 保健福祉部・農林水産部・教育委員会等の関係機関が連携して学校・家庭・地域が一体となって地域における食育推進体制を整備する。また、食育推進体系を再構築して「元気なふくしまっ子」が育つ食環境整備を進める。	H26~	3,230	健康教育
			朝食について見直そう週間運動 6月、11月に各学校の実態に対応した朝食摂取率向上の取組を行う。	H19~		健康教育
			つながる食育推進事業 栄養教諭と養護教諭等が連携した食育へのアプローチや、体験活動を通じた食への理解促進などを行い、学校を核として家庭を巻き込む食育の推進を図る。	H29~	4,827	健康教育
			③ ⑤ ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト(再掲11頁) 小事業:食習慣・肥満等の健康教育に係る専門家派遣事業(再掲11頁)	H27~ H28~	38,287 (1,034)	健康教育 健康教育
健康教育の推進			学校欠席者サーベイランス事業 県内すべての公立学校に学校等欠席者・感染症情報収集システムを導入し、即時に感染症情報を共有することで、感染症の早期探知、早期対応に努め、感染拡大を防止する。	H25~		健康教育
		①	学校すこやかプラン(再掲10頁)	H19~	1,729	健康教育
		②	小事業:福島県がん教育実践事業(再掲10頁) 中・高等学校の新学習指導要領に対応したがん教育の在り方について実践研究を行うとともに、がん教育を行う外部講師の資質向上を図りがん教育の充実を図る。	H31~	(1,597)	健康教育

(3) 子どもたちの生き抜く力を支える「確かな学力」を身につけさせます

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導の充実を図るとともに、知識・技能を活用する基盤となる言語に関する能力を育むため、読書活動も含めて言語活動の一層の充実を図ります。
- ・ 小・中学校においては、本県が全国に先駆けて実施している少人数教育の効果的な活用を図りながら、学力向上の基盤となる学習習慣の確立を図るとともに、児童生徒の学力の実態を踏まえて学習指導の改善に取り組みます。高等学校においては、生徒一人一人の進学や就職などの進路希望を実現するため、より高度な知識・技能の習得とそれを活用する能力を高めます。
- ・ 知識基盤社会において重要な科学技術に対する関心と基礎的素養を高めるため、新学習指導要領による理科教育への対応や算数・数学における応用力の強化を図ることなどにより、科学技術の土台となる理数教育を推進します。
- ・ 過疎・中山間地域の学校における学習指導及びICT活用による学習環境の充実を進めます。

【東日本大震災・原子力災害を経て】

- ・ 被災した児童生徒の学習活動に遅れが出ることをないように、十分な支援を行います。
また、学校において、放射線の性質や放射線からの防護等の方法など基本的な知識の普及を図るとともに、災害時に適切に判断して行動できるような生き抜く力の育成を図ります。
さらに、本県の子どもたちが将来、最先端の医学やエネルギー研究などを担えるよう理数教育などを推進します。

※凡例 ①：新規事業 ②：新規内容を一部付加した事業 ③：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
④～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号）
R2当初予算額（ ）内は
大事業の中の内数

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位：千円)	担当課室
少人数教育によるきめ細かな指導 【再掲 P53】		①	少人数教育推進事業（再掲53頁）	H14～	5,842,993	義務教育
		☆	私立小中学校少人数教育推進事業補助金(再掲49頁)	H14～	22,400	私学・法人
言語活動に関する能力の育成			教科等における言語活動の充実 知的活動やコミュニケーションなどの基盤となる言語に関する能力を育成するため、全ての教科等において子どもたちの言語活動の充実を図る。	H21～		義務教育 高校教育
			学校における読書活動の推進 教育活動全般における学校図書館の計画的な活用や、読み聞かせやブックトークなど多様な読書活動の推進等により、読書習慣の形成を促進する。	H16～		義務教育 高校教育 社会教育
学力向上のための取組	①	①	一人一人を伸ばすふくしま学力向上推進事業 一人一人の学習内容の定着度や学力の伸びを把握するとともに、学習に対する意識や生活の様子などの状況を調べる「ふくしま学力調査」を実施し、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。	H30～	79,137	義務教育
		②				
		①	「ふくしま活用力育成シート」実践事業 活用力に特化した問題を作成し提供することで、児童生徒の活用力の向上に資するとともに、活用力育成のための授業づくりの充実を支援する。	H30～	668	義務教育
		②				

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位:千円)	担当課室
学力向上のための取組 (続き)	新	県	① ふくしまの学校キラリ学力向上プロジェクト 教育実践拠点校(キラリ校)が、各学校の魅力化・特色化を図りながら、学力向上に向けた取組を支援する。	R2~	6,160	義務教育
			② 小事業: ふくしまの学校キラリ学力向上プロジェクト 教科担任制やタテ持ちの実施により、教員同士の学び合う文化の醸成につなげ、教員の指導力向上、授業の質的改善を目指す。		(2,682)	義務教育
			③ 小事業: AI時代を生き抜く読解力向上事業 研究協力校の実践を基に読解力向上に関する指導法の確立やカリキュラム開発に取り組み、児童生徒の基礎的読解力の向上を図る。		(3,478)	義務教育
	新	県	④ 教育相談推進事業(再掲9頁) 小事業: サポートティーチャー派遣事業 児童生徒の心のケアや学習におけるつまずきの解消のため、サポートティーチャーを学校や教育委員会に派遣し、教科の学習を支援する。 また、長期休業、放課後、土曜学習会等における学習支援、読書支援、個別の相談活動を充実させる。	H9~ H25~	561,359 (28,239)	義務教育 義務教育
			⑤ オールふくしま学力向上推進事業 ① 難関大学への進学を志望する生徒を対象として合同学習会を開催し、生徒の志を高めるとともに、各校における理数教育や思考力等を育む取組を支援することで、本県で学ぶ高校生の学力向上を推進する。	R2~	18,662	高校教育
	新	県	② 小事業: ふくしま高校生リーダー育成プロジェクト 難関大学への進学を志望する生徒を対象として合同学習会を開催し、参加生徒の志を高めて学力の向上を推進する。	R2~	(3,030)	高校教育
			③ 小事業: 大学進学のための学力向上推進事業 各県立高等学校における理数教育や思考力・判断力・表現力等を育む取組を強化し、本県で学び、大学進学を志す高校生の学力向上を支援する。	R2~	(15,052)	高校教育
	新	県	④ 小事業: 「科学の甲子園」福島県大会事業 科学技術・理科・数学等における、複数分野の知識・技能を競い合う大会を開催することにより、科学好きな生徒の裾野を広げるとともに、トップ層の伸長を図る。	R2~	(580)	高校教育
			⑤ ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト (再掲10頁)	H28~	3,008	社会教育

新規	重点 所管	主 要 事 業 等	実施 期間	R2	
				当初予算額 (単位：千円)	担当課室
学力向上の ための取組 (続 き)	県 ① ② ④	未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業 (再掲15頁)	H30~	11,684	義務教育
		小事業：理数教育優秀教員活用事業 (再掲15頁)		(5,174)	義務教育
		小事業：理数コンテスト事業 (再掲15頁)		(3,255)	義務教育
		小事業：先端技術体験事業 (再掲15頁) 小事業：ふくしまスーパーサイエンススクール事業 (再掲15頁)		(1,236) (2,019)	義務教育 義務教育
	県 ④	福島イノベーション人材育成実践事業 (再掲17頁)	H30~	425,490	高校教育
	県 ① ②	グローバル人材を育成する英語教育強化事業 (再掲26頁)	H30~	31,865	高校教育
理 数 教 育 の 推 進	県 ① ② ④	未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業	H30~	11,684	義務教育
		東日本大震災及び原発事故からの復興に資する再生 可能エネルギーや医療・ロボット分野の研究開発など、 地域に根ざす新たな産業を創出する人材を育成するた め、「福島イノベーション・コースト構想」による児 童生徒へのキャリア教育の視点を加味した理数教育の 推進を図る。			
		小事業：理数教育優秀教員活用事業 福島の復興を担う子ども・若者を育成するため、 小・中学校の算数・数学、理科を専門とする優秀教 員の育成と活用を図り、県内の小・中学校において 質の高い算数・数学、理科の授業を行うことができ るようにする。	H30~	(5,174)	義務教育
		小事業：理数コンテスト事業 算数・数学、理科に関心がある児童生徒が論理的 な思考力や科学的思考力を問う問題に挑戦する機会 を設け、県内児童生徒の理数に対する興味・関心を 高めるとともに、問題を解決する力を育成すること ができるようにする。	H30~	(3,255)	義務教育
		小事業：先端技術体験事業 県内の企業等における最先端技術に触れる機会を 通して、問題を解決する力を育成することができる ようにする。	H30~	(1,236)	義務教育
		小事業：ふくしまスーパーサイエンススクール事業 再生可能エネルギーや医療・ロボット分野と関連 した理数教育の充実を図る。	H30~	(2,019)	義務教育
		スーパーサイエンスハイスクール事業 将来、科学技術分野で国際的に活躍する人材育成の ための取組を推進する。また、大学と連携した研究や カリキュラム作成の研究等を推進する。	H14~	3,056	高校教育

	新規	重点 所管	主 要 事 業 等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位：千円)	担当課室
理数教育 の推進 (続 き)			論文募集事業 小事業：科学・技術研究論文募集事業（野口英世賞） 生徒の科学・技術研究に対する関心を高めるため、 中高生を対象に科学・技術研究に関する論文を募集 し、優秀者を表彰する。	H3~ H3~	382 (208)	高校教育 義務教育 高校教育
過疎・中山間 地域の学習指 導及び学習環 境の充実	一新		うつくしま教育ネットワーク事業（再掲23頁） 地域の実態に応じた教員の配置（再掲55頁）	H30~	262,939	教育総務 義務教育
放射線教育 の推進	一新	県 ③ ④	地域と共に創る放射線・防災教育推進事業 身の回りで起こる災害や放射線等に関する問題とこ れらへの取組等について児童生徒に考えさせること により、未来を拓く地域社会の一員として安全・安心な 社会づくりに貢献しようとする態度を育成する。	H29~	10,559	義務教育
防 災 教 育 の 推 進	一新	県 ③ ④	地域と共に創る放射線・防災教育推進事業(再掲16頁)	H29~	10,559	義務教育
	一新	県 ☆	そなえるふくしま防災事業 小事業：家族で学ぶ防災セミナー 小学生の親子を対象に、防災ガイド等を活用した ワークショップなどを行う「家族で学ぶ防災セミナ ーを県内6箇所（7回）開催する。	H30~ H31	9,534 (3,496)	危機管理 危機管理

(4) 望ましい勤労観・職業観をはぐくみます

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 児童生徒が自己の在り方や生き方についての自覚を深め、社会に貢献しようとする態度を身につけ、将来充実した職業生活を送ることができるようにするため、小学校段階からの計画的・継続的なキャリア教育の取組を推進します。
- ・ 専門高校が地域と連携し、地域産業の振興を担う人づくりに努めるなど、専門高校における職業教育を推進します。

※凡例 (新)：新規事業 (一)：新規内容を一部付加した事業 (県)：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
 R2当初予算額()内は
 大事業の中の内数
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業(数字は主要施策の番号)

今後の取組	新規 重点 所管	主 要 事 業 等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位：千円)	担当課室
教育活動 全体を通した キャリア 教育の推進		小・中学校における勤労観・職業観の基盤形成 学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、 学ぶ意欲を向上させるため、小学生の職場見学や中学生の 職場体験活動等を促進する。	H16~		義務教育
	(県) ④	福島イノベーション人材育成支援事業 構想に関する人材育成関連事業について、(公財)福島 イノベーション・コースト構想推進機構などに委託し、 対象校と企業・大学等との連絡調整や教育プログラムの 成果発表会、生徒間交流会を開催する。	H30~	30,714	高校教育 イノベ機構
	(県) ④	福島イノベーション人材育成実践事業 「福島イノベーション・コースト構想」を担う人材 を育成するため、新たな教育プログラムの実施に必要な となる環境を整備するとともに、大学や企業、自治体 と連携し、魅力あるプログラムを実践する。 小事業：トップリーダー育成事業 浜通り地域等における構想を牽引し、貢献する高 い志を持った将来の起業家や研究者等のトップリー ダーを育成する。	H30~	425,490	高校教育
		高等学校における進路決定能力等の育成 進路の自己決定ができるよう、各学校における職業等に 関する体験活動や研修会、進路指導相談等の充実を図る。			高校教育
職場体験 活動の推進		市町村立学校における職場体験活動の促進 市町村教育委員会及び各学校に対してキャリア教育 の意義等について啓発し、小・中学校における職場体 験活動を促進する。	H16~		義務教育

※ イノベ機構・・・福島イノベーション・コースト構想推進機構

今後の 取組	新規 重点 所管	主 要 事 業 等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位：千円)	担当課室
インター ンシップ 等の推進	県 ①	ふくしまの未来を拓く産業人材育成事業 小事業：インターンシップによる産業人材育成事業 学校と受入企業が連携し、生徒の社会的・職業的自立に必要な「基礎的・汎用的能力」を育成することにより、働くこと、生きることの尊さを実感させ、職業観、勤労観を醸成することにより、生徒の主体的な進路選択の能力と態度を育成する。	H30~ H30~	13,622 (924)	高校教育 高校教育
	県 ①	ふくしまで生活基盤を築くための高校生支援事業 進路相談や適性診断を生かした生徒面談の実施や福島で働くことの意義などについての講話を行い、社会人として自立するためのサポートを行う。また、県外に避難している新規高卒就職希望者の帰還を支援するため、生徒が就職を希望する地域の求人情報等の提供を行う。	H28~	109,388	高校教育
	県 ① ④	ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業 将来、医療の仕事に携わり、本県の復興や社会に貢献したいと願う高校生の夢を実現させるため、高校生に対して地域医療現場の体験学習を行い、職種や進路先の決定や進路実現に向けた学習意欲の醸成を図る。	H28~	2,647	高校教育
		デュアルシステムの活用の普及 学校での学習と企業での実習を組み合わせ、実践的な知識や技能を身に付けさせるデュアルシステムの活用について、指導助言や普及に努める。	H17~		高校教育
	県 ☆	ふくしまで生活基盤を築くための私立高校生等支援事業 (再掲52頁)	H28~	25,861	私学・法人
専 門 高 校 に お け る 職 業 教 育 の 推 進	県 ④	福島イノベーション人材育成実践事業 (再掲17頁) 小事業：工業人材育成事業 構想の実現を担う高度な工業人材育成のための教育環境を整備する。 小事業：農業人材育成事業 地域の農業の発展に寄与できる農業人材の育成とドローンを取り入れた先進的な水産教育のため、浜通り地域の農業高校と水産高校の教育環境の整備を図るとともに、新たな農業教育のプログラム実践を目指す。	H30~ H30~	425,490 (226,341)	高校教育 高校教育
	県 ④	福島イノベーション人材育成広域連携事業 浜通り地区だけではなく、県内全域において構想に関わる企業等と専門高校が連携し、産業人材の育成を組織的に展開する。 小事業：専門高校高度人材育成事業 構想に関わる企業や研究機関等から外部講師を招へいし、技術指導や講義、共同研究を進める。	H30~ H30~	18,125 (15,787)	高校教育 高校教育
		小事業：ロボット人材育成事業 企業や研究機関から講師を招へいし、生徒に高度なロボット製作の先端技術を身に付けさせるとともに、教員の実践的指導力の向上を図る取組を行う。	H30~	(2,338)	高校教育

今後の取組	新規 重点 所管	主 要 事 業 等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位：千円)	担当課室
専門高校 における 職業教育 の推進 (続き)	県 ④	ふくしま未来の農業者GAP教育実践事業 (H30まではGAP取得を目指す未来の農業者交流事業) 農業に誇りと自信を持ち、国際的に通用する高い経営 感覚を兼ね備えた人材を育成するため、県内の農業高校 生がGAP教育の課題について共有する交流や、県外で の農産物販売会等を行う。	H31~	2,153	高校教育
	県 ①	ふくしまの未来を拓く産業人材育成事業(再掲19頁) 小事業：専門高校生による小中学生体験学習応援事業 小・中学生が専門高校で取り組んでいる内容について 体験学習を実施し、その際の実技指導の講師を高校生が 行うことにより、児童生徒のキャリア教育の推進を図る。	H30~ H30~	13,622 (3,453)	高校教育 高校教育 義務教育
		小事業：めざせ！ナンバーワン専門高校支援事業 県内の農業科・工業科・商業科・水産科・家庭科設置 校において、各種競技大会や研究発表大会に参加し、全 国大会で上位入賞できる高い専門性や資質、能力を身 に付けさせ、地域に貢献できる産業人材を育成する。	H30~	(7,602)	高校教育
		小事業：ものづくりチャレンジ事業 本県の復興・再生には若手技術者の確保と育成が重 要であるため、工業高校では総合的で高度な知識や技 術の習得を目的として、ロボット製作を積極的に取り 組んでおり、その取組をより活性化、高度化させ、ふ くしまの復興を担う工業人材の育成を図る。	H30~	(1,643)	高校教育
	県 ☆	福島イノベ構想推進産業人材育成・確保事業 福島イノベーション・コースト構想を担う高度な人材 を育成し、かつ地域企業の人材確保・定着を図るため、 高等教育機関、研究機関と連携し、講演会、出前授業や 各見学会を行う。	H31~	26,225	産業人材育成 雇用労政 イノベ機構
	県 ③ ④ ⑤	チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業 (再掲8頁)	H31~	289,309	社会教育
県 ④	福島イノベーション人材育成支援事業(再掲17頁)	H30~	30,714	高校教育 イノベ機構	

※ イノベ機構・・・福島イノベーション・コースト構想推進機構

(5) 障がいのある子どもたちが「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進します

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 障がいのある子どもたちが、就学前、在学中、さらには卒業後において、一貫した支援を受けられることができるよう、医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関の連携を深めることなどにより、地域で「共に生きる」ことができる体制の整備を進めます。
- ・ 障がいのある子どもが、一人一人のニーズに応じて、地域の幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校において学ぶことができるよう、教員の専門性の向上、校内支援体制の整備・充実、すべての保護者に対する特別支援教育への理解の促進などにより、各学校における「共に学ぶ」環境づくりを進めます。

[東日本大震災・原子力災害を経て]

- ・ 震災等による不安を抱えている障がいのある子どもたちへの心のケア等を進めるとともに、就学を含めた教育相談の充実を図ります。また、震災等の影響による雇用状況の変化を踏まえた進路指導を推進します。

※凡例 (新)：新規事業 (一)新：新規内容を一部付加した事業 (県)：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号）
 R2 当初予算額（ ）内は
 大事業の中の内数

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2 当初予算額 (単位：千円)	担当課室	
地域における インクルー シブ教育 システムの 構築と理解 啓発の促進	(一)新	県	未来へつなぐ子育て・教育充実事業	H30～	42,680 (41,983)	特別支援教育	
			③ ⑤ 特別な支援を必要とする子どもたちの就学前から学校卒業後までの切れ目のない支援体制構築のため、小・中学校等や関係機関との連携を図りながら養育や教育に関する相談支援体制の充実を図る。 小事業：切れ目のない支援体制整備充実事業 「地域支援センター(相談窓口)」や、「教育支援アドバイザー」等により、地域や学校等のニーズに応じた相談の充実や関係機関との連携強化を図る。	H30～			
			「個別の教育支援計画」の作成と活用の促進 乳幼児期から学校卒業後まで、長期的視点に立った一貫した教育的支援を的確に行うため、「個別の教育支援計画」を作成して各学校間等で引継ぎを行うことにより、障がいのある子どものニーズの正確な把握や、関係機関との連携を図る。	H22～			特別支援教育 特別支援教育センター
			「交流及び共同学習」の促進 各学校において障がいのある子どもと障がいのない子ども、地域の人々との交流や共同学習を促進する。	H22～			特別支援教育
		☆	私立幼稚園心身障がい児教育費補助金(再掲50頁)	S56～	288,904	私学・法人	

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位:千円)	担当課室
特別支援学校における特別支援教育とセンター的機能の充実		県	③ 夢に向かってテクノチャレンジ事業 特別支援学校高等部に在籍している生徒の自立や社会参加を促すため、「特別支援学校作業技能大会」を開催し、日頃の進路に関する学習の成果を発表し、外部専門家からの客観的な評価を受ける。	H25~	3,357	特別支援教育
		⑤	⑤ 特別支援学校における医療的ケア実施事業 障がいの重度・重複化に伴い吸引等の医療的ケア(日常的応急の手当)を必要とする児童生徒等が、健康で安全・安心な学校生活を送ることができるようにするため、医療的ケアを実施し、保護者の負担を軽減する。	H15~	2,787	特別支援教育
	-新	県	未来へつなぐ子育て・教育充実事業(再掲20頁)	H30~	42,680	特別支援教育
		③	③ 小事業:切れ目のない支援体制整備充実事業(再掲20頁)	H30~	(41,983)	特別支援教育
教員の特別支援教育に関する指導力の向上		②	② 特別支援学校教科指導充実事業 特別支援学校の教員に対し、新特別支援学校学習指導要領の周知徹底を図るとともに、知的障がいのある児童生徒に対する各教科における指導の充実に向けた研修と公開授業を実施し、指導力の向上を図る。 校内研修の充実 教員に特別支援教育に関する理解や対応方法を身につけさせるため、幼稚園、小・中・高校における研修を支援する。	H30~	1,650	特別支援教育 特別支援教育センター
		⑤	⑤ 教員研修の充実 特別支援学校や特別支援学級、通級指導教室、特別支援教育コーディネーター等の教員を対象に、より専門的な研修を実施し、その指導力の向上を図る。		1,435	特別支援教育 特別支援教育センター
特別支援学校の在り方の検討【再掲P56】	-新	県	特別支援学校整備事業(再掲56頁)	H23~	2,285,906	施設財産
		⑤	⑤ 県立特別支援学校学習環境整備事業(再掲56頁) 小事業:県立特別支援学校学習環境整備事業(再掲56頁)	H28~	58,770	特別支援教育
	-新	⑤	⑤ 小事業:県立特別支援学校遊具整備事業(再掲56頁)	H28~	(50,963)	特別支援教育
	⑤	⑤ 小事業:県立特別支援学校遊具整備事業(再掲56頁)	R2~	(7,807)	特別支援教育	

(6) 高度情報化社会を主体的に生きていく力をはぐくみます

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 児童生徒が、社会の情報化の進展に主体的に対応できるよう、情報活用能力を高める教育を推進するとともに、情報モラル教育の充実を図ります。
- ・ 情報通信ネットワークの活用による児童生徒の探究活動等の推進を図ります。
- ・ 知識基盤社会の進展や国内外における大学間競争が進む中、会津大学におけるコンピュータ理工学の専門的、実践的教育や世界を視野においた研究などを通して、国内外で活躍できる人づくりに努めます。

※凡例 (新)：新規事業 (一)新：新規内容を一部付加した事業 (県)：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号） R2当初予算額（ ）内は
 大事業の中の内数

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位：千円)	担当課室
情報活用能力の育成			ICTを活用した学習活動の推進 ICTを活用した授業の実践事例の公開を通じた学習活動を推進する。 情報化対応研修の充実 全ての教員が、ICTを活用して指導できるようにするため、教員研修の充実を図る。		630	義務教育 高校教育 教育センター 高校教育 義務教育 教育センター
情報モラル教育の充実			情報モラル教育に関する教材の開発や実践事例の提供等 情報モラル教育に関する教材の開発や既存の教材の活用方法等の実践事例提供により、情報モラル教育の充実を図る。			義務教育 高校教育
教育の情報化に関する基盤整備			うつくしま教育ネットワーク事業 学校を含めた教育機関に安全で安定したインターネット利活用環境を提供するため、授業等でのネットワーク使用量の増加に対応するシステム改良、情報セキュリティの維持、有害情報の遮断などの支援を行う。 ふくしま教育総合ネットワークのクラウド基盤の中で機微情報を扱う領域を分離し文部科学省が提唱・勧告しているレベルのセキュリティを実現する。	H11～	262,939	教育総務
	(新)	(県)	新時代の学校におけるICT環境研究開発事業 ① 県立学校を対象に、新学習指導及び新時代の学びに必要なICT環境の整備を進めるため、指導力向上開発校を中心に、指導法の開発・検証や事例の蓄積を行う。	R2～	80,276	教育総務 高校教育 特別支援 義務教育
	(新)	(県)	GIGAスクール構想実現事業 ① 県立学校に無線LAN環境を導入するとともに、義務教育段階の児童生徒1人1台端末の整備の支援を行う。	R1～	1,360,335	施設財産 教育総務
			② 県立学校IT環境整備事業 県立学校等へのMicrosoft Office等の包括ライセンスの提供、令和元年度までに更新し不用になった教職員用パソコンの処分等を行う。	H28～	134,139	教育総務

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位:千円)	担当課室
教育の情報化に関する基盤整備(続き)	新	県	② 統合型校務支援システム整備事業 情報セキュリティの向上、教員が子どもと向き合う時間の確保、大学入試改革に伴う調査書の電子化への対応を図るため、学習成績を含む児童生徒の個人情報等を一元的に管理するシステムを運用する。	H31~	46,596	教育総務
			① 教育用コンピュータ整備事業 情報化教育を実施するため、県立高等学校に教育用コンピュータを整備する。	H13~	355,371	施設財産
公立大学法人への支援を通じたコンピュータ理工学の教育、研究等の推進		☆	会津大学運営費交付金(再掲28頁)	H18~	3,477,573	私学・法人

(7) 国際化の進展に対応できる人づくりを進めます

【総合教育計画における基本的方向性】

- 異なる文化的背景を持つ人々との相互理解を深め、国際社会において主体的に行動できる人づくりを進めるため、国際理解教育、我が国と郷土の伝統や文化等に関する教育を進めるとともに、児童生徒のコミュニケーション能力を高めるための語学指導等の充実を図ります。
- 県内に居住する外国人が増加する中、外国人児童生徒等が学校生活に早期に適応できるよう、日本語指導等の支援体制の整備を進めます。
- 双葉地区教育構想や大学とも連携した特色ある中高一貫教育により、国際人として社会をリードする人づくりを推進します。
- 公立大学において、国際社会で活躍できる人づくりに努めます。

[東日本大震災・原子力災害を経て]

- 東日本大震災・原子力災害後にふくしまが世界と直接つながっていることを実感したことを踏まえ、世界に通じる人づくりを進めるため、特に児童生徒の英語によるコミュニケーション能力を向上させるとともに幅広い視野と国際感覚を身につけさせ、グローバル社会に貢献できる人づくりを推進します。

※凡例 (新)：新規事業 (一)新：新規内容を一部付加した事業 (県)：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号）
 HR2 当初予算額（ ）内は
 大事業の中の内数
 (単位：千円)

今後の取組	新規重点所管	主要事業等	実施期間	R2 当初予算額 (単位：千円)	担当課室
国際理解教育の推進		論文募集事業（再掲16頁）	H3～	382	高校教育 義務教育 義務教育
		小事業：国際理解・国際交流論文募集事業（朝河貫一賞） 生徒の国際理解・国際交流に対する関心を高めるため、中・高生を対象に国際理解・国際交流に関する論文を募集し、優秀者を表彰する。	H3～	(174)	義務教育
		外国語指導助手の母国の文化や習慣を学ぶ機会の提供 児童生徒の異文化理解を深めるため、外国語や総合的な学習の時間などにおいて、外国語指導助手の母国の文化や習慣を学ぶ機会を設ける。	S62～		義務教育 高校教育
	(一)新 (県)	英語でつなぐ復興の架け橋支援事業 ① 本県復興を担うグローバルな人材を育成するため、 ④ 高校の教育活動の一環として実施する海外研修の生徒旅費の一部を支援する。 また、研修で得た知見を、本県の復興の提言として県内外に発信するため、英語プレゼンテーションコンテストを実施する。	R2～	13,250	高校教育
	(新) (県)	地域との協働による高等学校教育改革推進事業 ④ ふたば未来学園高校が企業や大学等と連携し、地域の課題解決に向けた探究活動と海外研修を体系的に位置づけた質の高いカリキュラムの開発・実践に取り組む。	R2～	5,002	高校教育
	ふくしまグローバルセミナー 高校生以上の参加者を対象に、外国出身者による母国紹介や国際協力現場レポート、国際理解や国際協力、多文化共生についての体験型セミナーを実施し、グローバルな人材の育成を推進する。	H15～		国際 高校教育 義務教育	

今後の取組	新規 重点 所管	主 要 事 業 等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位:千円)	担当課室
特色ある 中高一貫 教育による 国際人の 育成	県 ④	双葉地区教育構想（国際人育成プラン） 震災からの復興に向けて国際社会に貢献できるグローバル人材の育成や双葉地区教育構想の基本目標の1つである「国際人として社会をリードする人材の育成」を図るため、スポーツ交流事業や国際理解事業に取り組む。	H18~	1,570	高校教育
		会津学鳳中学校・高等学校における国際化社会、情報化社会のリーダーとして活躍できる人づくり 併設型中高一貫教育校である会津学鳳中学校・高等学校が、会津大学と連携して国際化社会や情報化社会のリーダーとして活躍できる人材を育成する。	H19~		高校教育
公立大学 法人への支 援を通じた 国際交流 の推進	☆	医科大学運営費交付金（再掲28頁）	H18~	13,187,744	私学・法人
	☆	会津大学運営費交付金（再掲28頁）	H18~	3,477,573	私学・法人

(8) 公立大学において、社会をリードし、地域に貢献する人づくりを進めます

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 医学・看護学、コンピュータ理工学、食物栄養学等の分野で、地域に貢献できる人づくりに努めます。

[東日本大震災・原子力災害を経て]

- ・ 東日本大震災・原子力災害からの復興を担う人づくりとともに、産学官連携による地域産業の振興や新たな産業の創出に向けた取組を推進します。また、県内外の関係機関等と連携・協力しながら、すべての県民の健康の保持・増進や医療関連産業の創出等に向けた取組を行います。

※凡例 **新**：新規事業 **一新**：新規内容を一部付加した事業 **県**：県重点事業 **☆**：知事部局所管事業
 R2当初予算額()内は
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業(数字は主要施策の番号) 大事業の中の内数

今後の取組	新規重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位：千円)	担当課室
公立大学法人への支援を通じた教育、研究等の推進	☆	医科大学運営費交付金 公立大学法人福島県立医科大学が優れた教育研究、地域貢献、国際交流などを行うための経費として運営費交付金を交付する。	H18～	13,187,744	私学・法人
	☆	会津大学運営費交付金 公立大学法人会津大学が優れた教育研究、地域貢献、国際交流などを行うための経費として運営費交付金を交付する。	H18～	3,477,573	私学・法人
	☆	医科大学教育・研究機器整備事業 公立大学法人福島県立医科大学医学部の教育研究に必要な機器の整備に要する経費を補助する。	H30～	30,222	私学・法人
	☆	会津大学講義室機器等整備事業 会津大学の教育研究に必要な不可欠な機器等を整備するため、経費を補助する。	H28～	12,206	私学・法人
	☆	会津大学実習実験機器等整備事業 会津大学短期大学部の教育研究環境を充実させるために必要な実習実験機器の整備に要する経費を補助する。	H25～	15,122	私学・法人
	☆	災害こころの医学講座ほか設置事業 東日本大震災及び原子力発電所事故に伴い必要となった、県民の心のケア、健康リスクコミュニケーション、甲状腺検査とその検証、県民健康調査の結果解析を担う人材を育成するために設置する講座に係る経費を補助する。	H25～	165,000	私学・法人
地域社会等との連携・協力	☆	医科大学運営費交付金 (再掲28頁)	H18～	13,187,744	私学・法人
	☆	会津大学運営費交付金 (再掲28頁)	H18～	3,477,573	私学・法人
震災等からの復興への支援	☆	災害こころの医学講座ほか設置事業 (再掲28頁)	H25～	165,000	私学・法人

基本目標 2 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現

(9) 地域全体で子どもたちを教え育てる取組を支援します

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 地域全体で学校を支え、子どもたちを健やかに育むことを目指し、地域住民のボランティア活動等による積極的な学校支援の取組を促進します。
- ・ 放課後等に、子どもたちの安全・安心な活動拠点の設置を支援します。
- ・ 社会教育関係団体等の活性化のため、地域で活躍できるリーダーやコーディネーターの育成を支援します。
- ・ さまざまな機会を捉えて、県民の読書活動を推進します。

[東日本大震災・原子力災害を経て]

- ・ 被災した地域の自律的な復興のため、地域住民による学びへの支援を通じて地域コミュニティの再生を目指します。

※凡例 (新)：新規事業 (一)新：新規内容を一部付加した事業 (県)：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号） R2当初予算額（ ）内は大事業の中の内数

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位：千円)	担当課室
地域ぐるみによる学校支援の促進	(一)新	県	地域学校協働本部事業 地域の総合窓口となる「地域コーディネーター」を配置し、学校の窓口となる「地域連携担当教職員」を任命し、地域と学校が連携、協働のもと幅広い地域住民等が参画し、郷土学習や地域行事への参加等を通して、地域全体で子どもたちの成長を支える体制づくりを促進する。 小事業：地域学校協働活動事業 地域の総合窓口となる「地域コーディネーター」を配置し、学校と地域住民等との連携協力体制づくりを促進する。 小事業：学校・家庭・地域連携サポート事業(再掲30頁)	H29~	224,921	社会教育
			H29~	(76,408)	社会教育	
			H29~	(2,400)	社会教育	
			H31~		社会教育	
			H12~		義務教育	
放課後等における子どもたちの居場所づくりの支援	(一)新	県	福島県地域学校協働本部事業 学習支援ボランティアの登録と活動のコーディネート等を進め、地域で教育を支える仕組みを作る。	H31~		社会教育
			② 学校評議員制度の導入の促進（再掲40頁）	H12~		義務教育
			③ 学校評議員による学校関係者評価の実施（再掲40頁）	H14~		高校教育 特別支援教育
			③ 県立高校コミュニティ・スクール推進事業（再掲54頁）	H31~	3,720	高校教育
			地域学校協働本部事業（再掲29頁） 小事業：放課後子ども教室事業 子どもの健全育成と安心して子育てできる地域社会の実現のため、地域の協力のもと、子どもたちがスポーツ・文化活動や交流活動を行う放課後子ども教室の設置を支援する。 なお、「放課後児童健全育成事業」（こども未来局）と連携した総合的な放課後対策事業として実施する。	H29~ H29~	224,921 (139,930)	社会教育 社会教育

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位:千円)	担当課室
地域の社会教育を担うリーダーやコーディネーターの育成支援	-新	県 ③ ⑤	地域学校協働本部事業 (再掲29頁)	H29~	224,921 (2,400)	社会教育
			小事業：学校・家庭・地域連携サポート事業 学校・家庭・地域が連携協力し、地域全体で子どもを育む体制づくりと、震災後の環境の変化に対応した支援のために、「地域学校協働研修会」及び「地域連携担当教職員等研修会」を実施し、教育環境の復興に資する。	H29~		社会教育
			社会教育研修会の充実 社会教育指導員、社会教育委員等や市町村社会教育担当者の専門的知識や技術習得などの資質向上のため、研修会を実施する。			社会教育
			公民館主事等の研修の充実 地域の社会教育のリーダーやコーディネーターの育成、市町村における社会教育の中核的施設となる公民館の館長・公民館主事等の専門的知識と技術の向上のため、公民館職員に対する研修の充実を図る。			社会教育
読書活動の推進		県 ① ③	公共図書館の連携による読書環境の整備・促進 第四次「福島県子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、学校等の連携による読書活動の環境整備を行い、地域全体での公共図書館の利用を促進するため、子どもに対する読み聞かせ活動等を実施して読書の大切さを大人も子どもも実感できるようにする。	H11~	3,008	社会教育
			司書研修会の実施 地域にある図書館の業務を充実させるために研修会を開催し、公立図書館や公民館図書室職員の資質向上を図る。	H20~		社会教育
			ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト (再掲10頁)	H28~		社会教育
			学校図書館活動の支援 (再掲10頁)			社会教育
社会教育を通じた地域コミュニティ再生の支援	-新	県 ③ ⑤	地域学校協働本部事業 (再掲29頁)	H29~	224,921 (76,408) (139,930) (2,400)	社会教育
			小事業：地域学校協働活動事業 (再掲29頁)	H29~		社会教育
			小事業：放課後子ども教室事業 (再掲29頁)	H29~		社会教育
			小事業：学校・家庭・地域連携サポート事業 (再掲30頁)	H29~		社会教育

(10) 家庭における教育を支援します

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 家庭教育の自主性を尊重しつつ、子育てに関する学習の機会や情報の提供を推進するとともに、親支援のネットワークづくりを促進し、家庭における教育を支援します。
- ・ P T A活動など、学校と家庭の連携によるさまざまな取組を促進します。

[東日本大震災・原子力災害を経て]

- ・ 東日本大震災・原子力災害後における学校、家庭、地域の結びつきの変化や、家庭教育に関するさまざまなニーズの変化に対応した取組を推進します。

※凡例 (新)：新規事業 (一)新：新規内容を一部付加した事業 (県)：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号）
 R2 当初予算額 () 内は
 大事業の中の内数

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2 当初予算額 (単位：千円)	担当課室
子育てに関する学習機会の充実	(一)新	県	ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業 子どもの豊かなこころの育成や人と人との絆の深化、家庭や地域の教育力の向上を図るため、人と人のかかわりの中で感じた思いや願いや震災からのさらなる復興を願った「ふくしま」への思い等を綴った十七音の作品を募集し、県内外に広く発信する。	H28～	2,740	社会教育
		④	保護者への学習機会の提供 他部局等と連携して子育てに関する情報を提供する。			社会教育
		県	地域でつながる家庭教育応援事業 (再掲 3 1 頁)	H26～	3,003	社会教育
		③				
家庭教育力向上のための支援体制の充実		県	地域でつながる家庭教育応援事業 「親の学び」を支援するために地域の複数校で組織する連合 P T A と連携して、親自身が学ぶ機会を充実させる。また、「親育ち応援学習プログラム」を用い、家庭教育支援者をリードする人材を育成するとともに、企業と連携して地域の家庭教育推進を働きかける。	H26～	3,003	社会教育
		③	家庭教育の情報や資料の提供 就学時健康診断時の家庭教育講座で活用できる「親育ち応援学習プログラム」等、家庭教育に役立つさまざまな資料の提供や相談窓口の紹介を行う。			社会教育
学校と家庭の連携の促進			P T A 連合会等の支援 P T A 連合会等と連携をして各学校と家庭との連携が深まるような活動の促進と活性化を支援し、家庭の教育力向上を図る。			社会教育
		県	地域でつながる家庭教育応援事業 (再掲 3 1 頁)	H26～	3,003	社会教育
		③				

(11) 生涯を通して学習し、その成果が生きる環境を整備します

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ いつでも、どこでも、だれもが生涯を通して学ぶことができる環境づくりを一段と進めるため、市町村や高等教育機関、民間事業者及びNPO等市民団体等との協働体制を県内各方部ごとに構築する中で、地域づくりにつながる生涯学習の仕組みづくりを図ります。
- ・ 「地域の知の拠点」として誰もが利用しやすい施設となるよう、美術館、博物館、図書館などの生涯学習施設等の連携とネットワークづくりを進めます。
- ・ 生涯学習推進拠点機能の強化を図るとともに、学習情報の効果的提供や指導者の育成と支援、学習相談体制の再構築など中核機能を充実します。

[東日本大震災・原子力災害を経て]

- ・ 東日本大震災・原子力災害の記録を収集・保存し、公開するなどの取組を推進します。

※凡例 (新)：新規事業 (一)新：新規内容を一部付加した事業 (県)：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号） R2当初予算額（ ）内は
 大事業の中の内数

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位：千円)	担当課室
県民の学習機会 の充実と学習成果 を活かした社会参加 の促進			県立図書館の整備・充実 読書環境、学習環境の整備やサービスの充実を図るとともに、利用者の視点に立った施設の整備・運営に努める。	S59～	280,518	社会教育
			県立美術館の整備・充実 常設展、企画展及び教育普及事業の充実を図るとともに、利用者の視点に立った施設の整備・運営に努める。	S59～	1,027,873	社会教育
			県立博物館の整備・充実 常設展、企画展及び教育普及事業の充実を図るとともに、利用者の視点に立った施設の整備・運営に努める。	S59～	646,960	社会教育
		⑤	夜間中学調査・研究事業 義務教育未了者の就学機会、不登校等のため学校に通えなかった既卒者への学びなおしの機会、義務教育を修了していない外国籍の方への就学機会を確保するための夜間中学の設置を目的として、調査研究を行う。	H30～	521	義務教育
		☆	とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）の整備・充実	S45～	295,977	文化振興
		☆	アクアマリンふくしまの整備・充実 常設展・企画展・教育普及事業の充実を図り、利用者の視点に立った施設運営に努める。	H12～	384,243	生涯学習
		(新) ☆	東日本大震災・原子力災害伝承館学習活動支援事業 県内外の小中高の児童、生徒が東日本大震災・原子力災害伝承館を活用して行う学習活動に対して支援する。	R2～	19,302	生涯学習
		(新) ☆	東日本大震災・原子力災害伝承館の管理運営事業 甚大な被害に見舞われた福島県の記録及び教訓、復興のあゆみを着実に進める過程を収集、保存及び研究し、風化させることなく後世に引き継ぐために施設の効果的な運営を図る。	R2～	438,459	生涯学習

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位:千円)	担当課室
県民の学習機会の充実と学習成果を活かした社会参加の促進 (続き)		県	県民カレッジ推進事業 県内各地における様々な生涯学習関連情報を一元的かつ体系的に提供し、県民の生涯学習活動の支援を行う。	H13~		生涯学習
		☆	ニューズレター発行 震災からの復旧・復興や地域課題に取り組んでいる県内の関係者等の情報を共有し、「学びをひろげ、つなげる、いかす」ため、年に2回発行する。	H28~		生涯学習
			東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業(再掲33頁)	H24~	8,294	社会教育
生涯学習施設等の連携とネットワークづくり			自然の家の利用促進(再掲34頁)	S47~		社会教育
		☆	県民カレッジ推進事業(再掲33頁)	H13~		生涯学習
東日本大震災の記録の収集・保存		県	東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業 東日本大震災に関連する資料等を収集・保存し、広く県民に情報を提供するとともに、移動図書館車の巡回による資料の貸出を行う。	H24~	8,294	社会教育
		新	☆ 東日本大震災・原子力災害伝承館の管理運営事業 (再掲32頁)	R2~	438,459	生涯学習
生涯学習推進拠点機能の強化		☆	県民カレッジ推進事業(再掲33頁)	H13~		生涯学習

(12) 自然に親しみ、自然を尊重するところをはぐくみます

【総合教育計画における基本的方向性】

- 子どもたちが、自然と触れ合う体験を通して、自然やいのちの尊さに気づき、豊かな感性を育むことができるよう、自然体験活動を進めます。
- 子どもたちが、地球温暖化問題への理解を深めるとともに、本県の自然環境を理解し、環境の保護に向けて主体的に考え、行動できるよう、発達の段階に応じた環境教育を推進するとともに、実践的な取組を進めます。

〔東日本大震災・原子力災害を経て〕

- 原子力に依存しない社会を目指して、環境との共生が図られた社会づくりを推進するため、児童生徒にエネルギーや環境について考えさせる学習を充実します。
また、東日本大震災・原子力災害により減少した自然体験活動等の促進を図ります。

※凡例 **新**：新規事業 **一新**：新規内容を一部付加した事業 **県**：県重点事業 **☆**：知事部局所管事業
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号） R2当初予算額（ ）内は
 大事業の中の内数

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位:千円)	担当課室	
豊かな自然に親しむ体験活動の推進		県	チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業 (再掲8頁)	H31~	289,309	社会教育	
		③					
		④					
		⑤		自然の家の利用促進 自然体験や交流体験等を通して心身ともに健全な青少年を育成するとともに、県民に体験活動の場を提供する。	S47~		社会教育
				「尾瀬子どもサミット」小・中学生3県交流事業 尾瀬の自然に触れるフィールド活動や意見交換会等を実施することにより、児童生徒が環境問題について考え、環境保全に対する意識を高めるとともに、3県（福島・群馬・新潟）の児童生徒との交流やふれあいを深める。	H6~	1,486	義務教育
炭素・循環型社会に対応した環境教育の推進			県立学校における森林環境学習推進事業 県立学校が行う、森林の環境、森林の管理、森林の資源、地域における森林の役割に関する学習に対する活動の経費を支援する。	H18~	2,500	高校教育	
			「せせらぎスクール」への取組の推進 川の中に住んでいる小さな水生生物の種類と数を調べる「水生生物による水質調査」への参加を促進する。	S59~		環境創造センター 義務教育	
		県	ふくしま未来キッズワクワクプロジェクト(再掲11頁)	H28~	14,267	社会教育	
		県	ふくしま子ども自然環境学習推進事業(再掲34頁)	H23~	22,190◇	自然保護 義務教育	
		県	ふくしま子ども自然環境学習推進事業 尾瀬における体験活動を通し、生命や自然を大切にすることや豊かな自然を保全することについての認識を深め、環境保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動する態度を育成する。	H23~	22,190◇	自然保護 義務教育	
			「せせらぎスクール」への取組の推進(再掲34頁)	S59~		環境創造センター 義務教育	

◇・・・生活環境部（自然保護課）の予算額を掲載

(13) 地域に根ざした伝統文化を保存・継承し、地域を愛するところをはぐくみます

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 県内の重要な文化財の保存・継承と適切な活用をバランスよく進めます。
- ・ 文化財のもつ意味やよさが人々に伝わるよう、文化財に関する情報発信などを進めます。
- ・ 次代を担う子どもたちの地域の伝統文化を愛するところを醸成します。
- ・ 地域に根ざした伝統文化などの文化的資源を活かした文化振興に取り組み、地域の活性化を図ります。

【東日本大震災・原子力災害を経て】

- ・ 地域社会の絆の再生を図るため、文化財に触れる機会の充実を図るとともに、被災した文化財の修復や震災等により継承の危機に瀕している民俗芸能に対する支援を通して、地域活性化を促進します。

※凡例 **新**：新規事業 **一新**：新規内容を一部付加した事業 **県**：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号） R2当初予算額（ ）内は
 大事業の中の内数

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位：千円)	担当課室
重要な文化財の指定による保存と活用			文化財保存助成事業 小事業：指定文化財保存活用事業 文化財を活かした地域振興を図るため、国及び県指定文化財の保存と活用を一体的に行う事業の実施に要する経費を補助する。	H22～	20,749 (17,751)	文化財
文化財情報の発信等の推進			白河館管理運営業務委託 県内の遺跡からの出土品等の保管・展示・保存処理を行う。また、企画展や講演会の実施、ホームページなどによる文化財に関する情報発信を行う。	H13～	280,808 (274,801)	文化財
子どもたちの地域の伝統文化を愛するところの醸成			福島県高等学校総合文化祭補助金（再掲46頁）	S63～	1,000	高校教育
文化的資源を活かした地域活性化の推進		県 ☆	「地域のたから」民俗芸能総合支援事業 存続の危機にある民俗芸能の継承・発展のため、公演の機会を提供するとともに、民俗芸能団体の実情に応じた総合的な支援を行う。	H30～	21,074	文化振興
		県 ☆	アートによる新生ふくしま交流事業 地域資源を活用したワークショップや創作活動などのアート事業を展開し、地域の人々との交流を図り、心の復興につなげるとともに、展示等において「元気な姿」「復興」を広く発信する。	H29～	13,123	文化振興
			文化財保存助成事業 小事業：指定文化財保存活用事業（再掲35頁）	H22～	20,749 (17,751)	文化財
被災した文化財に対する支援の推進			被災ミュージアム再興事業 仮設保管施設に保管している旧警戒区域の歴史資料館等から搬出した資料の修理と整理を行い、展示活用をすることにより、被災したふるさとの文化財の保護と重要性の発信を行う。	H24～	4,036	文化財

基本目標 3 豊かな教育環境の形成

(14) 教員の資質の向上を図ります

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 本県の未来を担う子どもたちの教育に携わる者としての適性を、より多面的かつ公平・公正に評価し、優秀な教員を確保します。
- ・ 教員が教育に対して使命感を持ち、目標を定めながら、生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を行うことができるよう、より高い自律心と倫理観を育成するとともに、専門性を高め、実践的指導力の向上を図ります。
- ・ 学習指導、生徒指導等において日常的に努力を積み重ね、顕著な成果を上げている教職員を顕彰し、教職員全体の志気の高揚を図る一方、指導が不適切であると認定した教諭等に対しては、指導改善研修を行います。

[東日本大震災・原子力災害を経て]

- ・ 道徳教育や理数教育、防災教育、放射線教育など震災等を踏まえた教育を推進するため、これらに係る教員研修を充実させます。

※凡例 **新**：新規事業 **一新**：新規内容を一部付加した事業 **県**：県重点事業 **☆**：知事部局所管事業

①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号）

R2当初予算額（ ）内は
大事業の中の内数

今後の取組	新規 重点 所管	主要事業等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位：千円)	担当課室
適切な教員人事管理の推進		県立学校教員人事公募選考制度 教員の適材適所への配置による学校の活性化や教員の意欲向上を図るため、校長自らが学校経営・運営ビジョンや求める教師像を公開し、校長が構想する学校運営を担い得る教員を公募する。	H18～		高校教育
教職員目標管理制度の効果的な運用		人事評価についての研修充実事業 教職員一人一人の職務遂行能力の向上や、教育活動の充実、学校組織の活性化を図るため、教職員人事評価システムを構築する。	H27～		義務教育 高校教育 特別支援教育
教員研修等の充実	②	教職員の資質向上に向けた研修の充実 今日的な教育課題に対応する研修や、教職員のライフステージに応じた研修を体系的・計画的に行い、教職員の資質向上を図る。 教員の服務倫理に関する研修の充実 さまざまな教員研修の際に服務倫理に関する内容を取り上げるなど、教員の使命感や倫理観などの醸成に努める。		16,432	高校教育 義務教育 特別支援教育 教育センター
	☆	認定こども園等の環境整備等事業（認定こども園等教育の質の向上の研修支援事業） 認定こども園における教育の質の向上に関する研修や、幼稚園・保育所の合同研修等に係る費用の一部を補助する。	H25～	1,800	私学・法人
教職員の服務倫理の確立		教職員の服務倫理の確立のための取組 校内研修の充実や服務倫理委員会の活性化等により、教育公務員としての誇りと使命感を高めるとともに、高い倫理観と自律心の保持・向上を図る。			職員 義務教育 高校教育 特別支援教育

今後の取組	新規	重点 所管	主 要 事 業 等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位:千円)	担当課室
教職員の志気を高める施策の推進		県	① 優秀教職員による学校のチーム力向上事業 優秀教職員に表彰された教職員を対象に、研究会や先進校視察などに参加させ、個々の教員が持つ長所の更なる伸長を図るとともに、研修成果を広く普及・啓発させる。	H30~	2,000	職 員
		②	② 優秀教職員表彰制度 学習指導や生徒指導等において、日常的に努力を積み重ね顕著な成果を上げている教職員を、優秀教職員として積極的に讃え表彰することにより、教職員の志気を高め、教育活動全体の活性化を図る。	H18~	99	職 員
指導不適切教諭等制度の適切な運用			指導不適切教諭等の資質向上事業 各学校において指導が不適切である教諭等の早期把握や、観察・支援に努める。 また、県教育委員会が指導不適切教諭等と認定した場合は、教育センター等において指導改善研修を行う。	H15~	1,052	職 員 教育センター

(15) 一人一人の子どもに教員が向き合うことができる環境を整備します

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 教員が児童生徒と向き合う時間を確保するため、教職員の勤務の適正化と負担軽減を進めます。
- ・ 学校と地域との連携・協力体制を構築し、地域全体で学校を支え、子どもたちを健やかに育むことを目指し、地域住民のボランティア活動等による積極的な学校支援の取組を促進します。
- ・ 教職員が心身ともに健康で教育活動を実施できるよう支援します。

[東日本大震災・原子力災害を経て]

- ・ 震災等による教職員の精神的負担を軽減するための取組を推進します。

※凡例 (新)：新規事業 (一)新：新規内容を一部付加した事業 (県)：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号）
 R2当初予算額（ ）内は大事業の中の内数

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位：千円)	担当課室
教員の勤務の適正化と負担軽減			教員の多忙化解消のための取組 教職員の長時間労働を改善し、指導力の向上を図るため、平成29年度に策定した「多忙化解消アクションプラン」に基づき、具体的な取組を促進する。	H30～		職員
	(一)新	県	福島スクール・サポート・スタッフ事業 小学校に、学習プリント等の印刷などを教員に代わって行うサポート・スタッフを派遣することで教員の負担軽減を図る。	H30～	88,022	義務教育
			学校の組織運営体制の改善 学校の実態に応じた校務分掌と職務内容の見直し、保護者等から寄せられる多種多様な要望等に対応する学校や教員への支援、新たな職の導入、学校事務の在り方等について検討・改善に取り組み、教員の負担軽減を図る。			義務教育 高校教育 特別支援教育
			部活動指導員配置促進事業 適切な練習時間や休養日の設定など部活動の適正化を推進するため、中学校及び県立高等学校に部活動指導員を配置し、担当する教員の支援及び部活動の質的な向上を図る。	H30～	67,908	健康教育
	(一)新	県	統合型校務支援システム整備事業（再掲24頁）	H31～	46,596	教育総務
地域ぐるみによる学校支援の促進 【再掲P29】	(一)新	県	地域学校協働本部事業（再掲29頁） 小事業：地域学校協働活動事業（再掲29頁）	H29～ H29～	224,921 (76,408)	社会教育 社会教育
		県	福島県地域学校協働本部事業(再掲29頁)	H31～		社会教育
教職員の心身の健康保持			教職員健康管理事業 教職員の健康診断、ストレスチェック等を実施し、教職員の心身の健康の保持増進及び福利の向上を図る。	S49～	212,562	福利

今後の 取組	新規	重点 所管	主 要 事 業 等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位:千円)	担当課室
教 職 員 の 心身の健康 保持 (続 き)			ふくしま教職員こころのケア事業（共済組合） 公立学校共済組合員を対象に、カウンセリング相談、メンタルヘルス研修会、ピアカウンセリング等を行い、心の健康保持に資する。	H23~	◇6,413	福 利
			管理監督者メンタルヘルス研修事業 管理監督者に対しラインケアに関する研修を実施し、職場環境等の把握と改善、教職員のメンタルヘルス不調への気づきと対応について認識を深め、職場におけるメンタルヘルス対策の推進に資する。	H26~	◇2,000	福 利
			みんなの健康応援事業（共済組合） ICTを活用し、教職員の特定健康診査の結果を分かりやすく提供するとともに、健康づくりに取り組む一定の行動に応じてポイントを付与するインセンティブを提供し、教職員の健康づくりの「きっかけ」と「習慣化」を促す。	H29~	◇18,862	福 利
			教職員相談事業 教職員相談室を設置し、教職員の職場、職務、家庭、健康等の悩み事について相談に応じ、その解決を促進する。	H4~	4,016	福 利

◇・・・公立学校共済組合の予算額を掲載

(16) 透明性の高い、開かれた教育を推進します

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 学校が、保護者や地域住民はもとより広く県民に対して、学校経営・運営ビジョンなど自校の教育に係るさまざまな情報を公開することにより、説明責任を果たすことを進めます。
- ・ 「ふくしま教育の日」などを活用して、開かれた学校づくりを推進します。
- ・ 教員一人一人が法令遵守を徹底し、高いモラルと誇りを持って児童生徒の教育に当たることを推進します。

※凡例 **新**：新規事業 **一新**：新規内容を一部付加した事業 **県**：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
 R2当初予算額（ ）内は
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号）
 大事業の中の内数

今後の取組	新規重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位：千円)	担当課室
学校評議員制度及び学校評価の市町村立学校への導入促進	②	学校評議員制度の導入の促進	H12~		義務教育
	③	保護者や地域住民等の意向を把握・反映させて学校経営を改善し、開かれた学校づくりを進めるため、市町村立学校における学校評議員制度の導入を促進する。			
県立学校における学校評価や保護者・地域住民等への情報提供の充実	②	学校評価の充実	H16~		義務教育
	③	市町村立学校が教育活動の成果等について適切に説明責任を果たし、学校経営を改善することにより、開かれた学校づくりを進めるため、学校評価の適正な実施と効果的な活用を促進する。			
学校経営能力の向上	②	学校評議員による学校関係者評価の実施	H14~		高校教育 特別支援教育
	③	保護者や地域住民等の意向を把握・反映させ、学校経営を改善することにより開かれた学校づくりを進める。			
学校経営能力の向上	②	新任校長・副校長・教頭・主幹教諭研修会	H1~		高校教育 義務教育 特別支援教育 健康教育 教育センター
	②	校長・教頭のためのマネジメント講座	H22~		高校教育 義務教育 特別支援教育 教育センター

今後の 取組	新規	重点 所管	主 要 事 業 等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位:千円)	担当課室
「ふくしま 教育の日」 の啓発と 「学校へ行 こう運動」 の推進			<p>「ふくしま教育の日」の啓発 県民の教育に対する理解を深め、本県の学校教育、社会教育、文化・スポーツを充実、発展させることを目的として条例で定めた「ふくしま教育の日（11月1日）」について、趣旨の理解・普及を図る。</p> <p>「学校へ行こう運動」の推進 「ふくしま教育週間」を中心に開かれた学校づくりのための各種取組を促進し、学校での子どもたちや教職員の姿を保護者や地域住民に見てもらうことにより、学校、家庭、地域が連携して子どもたちを育てていく契機とする。</p>	H15~		教育総務
教 職 員 の 服 務 倫 理 の 確 立 【再掲 P36】			教職員の服務倫理の確立のための取組（再掲36頁）			職 員 義務教育 高校教育 特別支援教育

(17) 安全で安心できる学習環境の整備を促進します

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ いじめや不登校等の未然防止や早期解決を図るため、学校の教育相談体制を充実させます。
- ・ 登下校時や学校内外における事件や事故、災害、感染症、安全・安心を脅かす新たな課題などに対応するため、児童生徒を守るための体制の整備を進めます。
- ・ 各学校が、家庭、地域や関係機関と連携し、地域ぐるみで学校を支援する体制づくりを進めます。
- ・ 学校施設の耐震化や老朽化対策などを進めます。
- ・ 経済的困難を有する家庭の子どもが自らの希望する進路を選択することができるよう、経済的支援を行います。

[東日本大震災・原子力災害を経て]

- ・ 被災した子どもたちへの心のケアや被災による経済的理由から就学等が困難となった世帯の子どもたちに対する支援を推進します。

被災した学校施設の早期復旧を図るとともに、学校の校庭等の放射線量の測定・除染や、学校給食における食材等検査などを継続し、学校における安全・安心の確保を促進します。

震災等の教訓を踏まえた児童生徒の防災意識の高揚と主体的に行動する態度等の育成を図るとともに、家庭や地域との連携を踏まえて積極的な情報発信に努めます。

※凡例 (新)：新規事業 [新]：新規内容を一部付加した事業 [県]：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号）
 R2当初予算額（ ）内は
 大事業の中の内数

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位：千円)	担当課室
教育相談体制の整備 【再掲P8】	[県]	⑤	不登校・いじめ等対策総合推進事業（ピュアハートサポートプロジェクト）（再掲8頁）	H28～	2,976	義務教育
	[県]	⑤	教育相談事推進事業（ピュアハートサポートプロジェクト）（再掲9頁）	H9～	561,359	義務教育
	[県]	⑤	スクールカウンセラー活用事業（ピュアハートサポートプロジェクト）（再掲9頁）	H19～	135,588	高校教育
感染症対策の推進や学校安全体制の整備			マニュアルに基づいた対応の徹底 学校における感染予防と感染拡大防止のため、健康教育の手引きや「学校における感染症、食中毒発生時の対応」に基づいた、適切な対応の徹底を図る。			健康教育
			市町村教育委員会等への情報提供と感染予防・拡大防止 各市町村教育委員会等において、適切かつ迅速な判断や措置がなされるよう、学校等欠席者情報システムを通じて、日々の感染症発生状況等の情報を提供し、感染予防と感染拡大防止を図る。			健康教育
			学校安全計画の充実などによる安全体制の整備 学校の実情に即した安全管理、安全教育、学校安全に関する組織活動を含めた総合的な安全計画を作成し、学校安全体制の整備を図る。			健康教育
児童生徒の安全の確保と防災教育の推進			情報モラル教育の充実やネット被害等から児童生徒を守るための環境の整備 情報モラル教育の充実及び啓発により、ネット被害等から児童生徒を守るための環境の整備を図る。			高校教育

今後の取組	新規	重点 所管	主要事業等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位:千円)	担当課室
児童生徒の 安全の確保 と防災教育 の推進 (続き)			県立学校等自動体外式除細動器整備事業 学校管理下における児童生徒の心停止に対する救命措置として、各県立学校等に自動体外式除細動器を配備し、救急体制の整備を図る。	H18~	5,582	健康教育
			学校安全教室推進事業 県内各校の安全教育担当者に対し、学校安全の現状と効果的な学校安全教育のあり方についての研修会を実施し、児童生徒の様々な場面における危険を理解させる。	H28~	210	健康教育
			小・中学校における児童生徒の安全確保の促進 地域の関係機関や関係団体と連携し、交通安全教室や防犯教室等を工夫して行うよう指導し、登下校中における児童生徒の安全を確保や、地域ぐるみの安全体制の整備促進に協力を求める。			健康教育
		①	地域学校協働本部事業 (再掲29頁) 小事業: 地域学校協働活動事業 (再掲29頁)	H29~ H29~	224,921 (76,408)	社会教育 社会教育
県立学校施設 の耐震化 及び老朽化 対策など の推進		⑤	大規模改造事業 学習環境の整備を図るため、老朽化が進んでいる県立高校・特別支援学校の校舎等の大規模改修、天井等の落下防止対策を行う。	H15~	1,797,051	施設財産
		⑤	県有施設維持補修事業 小事業: 県立学校ブロック塀緊急対策事業 安全性に問題のあるブロック塀の撤去工事実施後、児童生徒の安全確保等のためフェンスを設置する。	H22~ H30~	2,003,005 (498,128)	施設財産 施設財産
		⑤	県立学校施設応急仮設校舎等設置事業 (再掲45頁)	H23~	34,791	施設財産
市町村立 学校施設の 耐震化及び 老朽化対策 などの促進			市町村立学校施設の耐震化の促進 耐震化が必要な全ての学校施設の早急な耐震性の確保を図るため、市町村の課題を把握し助言を行う等、円滑な業務実施に向けて支援を行う。			施設財産
経済的困難 を有する 家庭の子ども への支援			高等学校等就学支援金 県立高等学校の生徒に、授業料に充てるための就学支援金を支給し、経済的負担を軽減することにより、教育の機会均等を図る。	H26~	3,911,752	財 務
		⑤	被災児童生徒等就学支援事業 東日本大震災等による被災や、原子力発電所の事故により避難している児童生徒等に就学支援等を行う。 小事業: 被災児童生徒就学援助事業 被災児童生徒に対する学用品費、通学費、学校給食費等の支援を行う市町村に対して補助金を交付する。	H23~ H23~	512,819 422,819	義務教育 義務教育

今後の取組	新規 重点 所管	主要事業等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位：千円)	担当課室
経済的困難を有する家庭の子どもへの支援 (続き)	①	小事業：被災児童生徒就学援助事業（大規模災害） 台風19号により被災した児童生徒に対する学用品費、通学費、学校給食費等の支援を行う市町村に対して補助金を交付する。	R1~	(9,000)	義務教育
	②	⑤ 高校等奨学資金貸付事業 能力があるにもかかわらず経済的理由により修学困難と認められる高校、専修学校（高等課程）の生徒や、東日本大震災により被災し経済的に修学困難と認められる生徒に対して奨学資金の貸与を行う。	H17~	246,600	高校教育
	③	⑤ 大学等奨学資金貸付事業 能力があるにもかかわらず経済的理由により修学困難と認められる大学、短期大学、高等専門学校 of 学生に対して奨学資金の貸与を行う。 また、大学等へ入学しようとする生徒へ入学一時金の貸与を行う。	S27~	232,328	高校教育
	④	⑤ 高校等奨学資金給付事業 低所得世帯の高校生等の授業料以外の教育費負担を軽減するため、奨学資金を給付する。	H26~	728,880	高校教育
	⑤	高等学校通学費支援事業 原子力発電所事故に伴うサテライト校等への通学により通学環境が大きく変化し、経済的負担が大きくなる生徒の保護者等に対して通学費を支援する。	H23~	266	県立高校改革
	⑥	⑤ 特別支援学校特別支援教育就学奨励費 特別支援学校に就学する幼児児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じて必要な費用を交付する。	S29~	376,321	特別支援教育
	⑦	① 子どもの夢を応援する事業 子どもたちの将来が、生まれ育った環境に左右されることのないよう、子どもの居場所づくりや様々な支援制度を活用してもらうための取組や、社会的養護を必要とする児童の自立に向けた支援を行う。	H30~	45,212	子ども・青少年課 児童家庭
	⑧	☆ 母子父子寡婦福祉資金貸付金 ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図るため、ひとり親家庭の児童が高校、短大、大学等へ進学する場合に必要な資金の貸与を行う（修学資金、就学支度資金等）。	S28~	120,812	児童家庭
	⑨	① ☆ 私立学校被災児童生徒等就学支援（再掲51頁）	H23~	118,377	私学・法人
	⑩	☆ 高等学校等就学支援金（再掲51頁）	H22~	3,099,775	私学・法人

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2 当初予算額 (単位:千円)	担当課室
経済的困難を有する家庭の子どもへの支援(続き)		県 ☆	私立高等学校就学支援事業(再掲51頁)	S56~	80,045	私学・法人
		県 ☆	私立専修学校就学支援事業(再掲51頁)	H18~	18,307	私学・法人
学校等における安全・安心の確保		県	県立学校施設等災害復旧事業 地震、台風など不測の災害により被災した県立学校施設等の復旧を行う。	H23~	5,000	施設財産
		県	県立学校施設応急仮設校舎等設置事業 東日本大震災を起因とする原子力災害により避難を余儀なくされた学校の学習環境を確保するため、応急仮設校舎等の設置・賃借を行う。	H23~	34,791	施設財産
		⑤	県立学校空調設備整備事業 児童生徒の健康管理や安全を確保するため、熱中症対策として県立学校のエアコンを整備する。	H30~	105,875	施設財産
		県 ⑤	学校給食安全・安心対策推進事業 学校給食の食材に対する保護者等の不安を軽減し、学校給食の一層の安全・安心を確保するため、放射性物質検査を実施する。	H23~	66,065	健康教育
			小事業：学校給食検査体制支援事業 学校給食の一層の安全・安心を確保するため、県立学校における学校給食用食材の放射性物質検査を民間に委託して実施する。	H23~	(32,900)	健康教育
			小事業：安心・安全のための学校給食環境整備事業 県内全域の給食実施市町村に学校給食の食材や加工品を納入している(公財)福島県学校給食会に、取扱食品の放射性物質検査を委託する。	H28~	(6,061)	健康教育
			小事業：学校給食モニタリング事業 希望する市町村等の学校給食調理場が提供した学校給食1食分に含まれる放射性物質の検査を、民間の検査機関に委託して行う。	H24~	(27,104)	健康教育
		☆	未来を担う子どもたちの安心就学環境支援事業 私立学校における施設の耐震化を図るため、国庫補助と平行して県による補助を行う。	H25~	15,000	私学・法人
	県 ☆	未来の子どもを守る食の安全確保事業 私立学校における学校給食食材の放射性物質検査に要する費用の一部を補助する。	H25~	1,390	私学・法人	

(18) 地域における身近な文化・スポーツ環境を整備します

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 県民が、年間を通して芸術活動などを鑑賞できる機会や自ら発表できる場を設け、県民参加による文化の振興を図ります。
- ・ 地域に根ざした文化的資源を活かした文化振興に取り組み、地域の活性化を図ります。（再掲）
- ・ 第35回全国高等学校総合文化祭（ふくしま総文）の成果を継承・発展させ、小・中学生及び高校生の文化・芸術活動を推進します。
- ・ 県民の日常生活にスポーツが根ざすよう、自らスポーツをする、みる、ささえる活動の場づくりや地域の一体感を高めるスポーツ環境の整備を図ります。
- ・ 本県競技者の国際大会や全国大会等での活躍が県民に夢と希望、誇りを醸成する観点から、トップアスリートを育成する競技力の向上を一層図ります。また、県内のスポーツ指導者の指導力の向上に努めます。

※凡例 **新**：新規事業 **一新**：新規内容を一部付加した事業 **県**：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
 R2当初予算額（ ）内は
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号） 大事業の中の内数

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位：千円)	担当課室
優れた文化芸術の鑑賞と文化活動の発表・参加の機会の充実		☆	声楽アンサンブルコンテスト全国大会開催事業 公募や各都道府県合唱連盟推薦の声楽アンサンブルグループによるコンテストを開催することにより、日本の合唱レベルの向上や音楽文化の振興発展に寄与し、歌うことの楽しさを本県から全国に発信する。	H19~	18,713	文化振興
		☆	文学賞実施事業 本県の文学の振興を図るため、県内在住者及び県出身者から、小説・ドラマ、エッセー・ノンフィクション、詩、短歌、俳句の5部門で作品を公募し、優秀作品を顕彰する。	S23~	4,016	文化振興
		☆	県展開催事業 本県の美術の振興を図るため、県内在住者及び県出身者から、日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門で美術作品を公募し、一般に展覧するとともに、優秀作品を顕彰する。	S22~	15,617	文化振興
文化的資源を活かした地域活性化の推進 【再掲 P35】		県 ☆	アートによる新生ふくしま交流事業（再掲 35頁）	H29~	13,123	文化振興
第35回全国高等学校総合文化祭の成果の継承・発展による児童生徒の文化・芸術活動の推進			福島県高等学校総合文化祭補助金 次世代の県内文化振興の基盤づくりに資する高校生の文化活動の促進を図るため、本県高校生の文化の祭典である福島県高等学校総合文化祭の開催費用の一部を補助する。	S63~	1,000	高校教育

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位:千円)	担当課室
スポーツ環境の整備		県 ☆	未来へチャレンジ！ふくしまスポーツ塾「福島輝く未来へ！スポーツわくわくプロジェクト」 運動が苦手であるために本格的なスポーツ体験等への参加に抵抗を抱く子どもたちに対し、スポーツを通じて身体を動かす楽しさを伝える機会を提供する。	H30~ R2	9,488	スポーツ
		④	オリンピック・パラリンピック教育推進事業（再掲11頁）	H30~	6,286	健康教育
		県 ☆ ☆	2020 東京オリンピック・パラリンピック関連復興推進事業 小事業：スポ・ボラレガシー化事業 県内ボランティアの資質向上を図り、オリンピック等のボランティアで活躍する人材の育成を行う。	H27~ R2	633,213 (3,697)	スポーツ オリパラ推進室 スポーツ
競技力の向上	新	県 ☆	スポーツふくしまライジングプロジェクト 国民体育大会等全国大会で上位入賞できるよう、本県競技スポーツのさらなる活性化と強化を図る。 小事業：ジュニア強化指定事業 スポーツ活動の基盤である中学校・高等学校運動部もしくはクラブチーム等を指定、支援し、恒常的な競技の普及、振興及び競技力の維持・向上を図る。	R1~ R3	138,646	スポーツ
		新	小事業：ネクストアスリート支援事業 次世代を担う有望な若手アスリートを選考し、国際的な競技力を備えるさせるため、(公財)日本オリンピック委員会や中央競技団体等が実施する強化練習会参加に要する費用等の支援を行う。	R1~ R3	(16,498)	スポーツ
		新	小事業：トップコーチ養成事業 本県競技力向上の推進役として期待される指導者を選考し、競技力の向上に資する研修会に参加させることでトップコーチを養成し、本県選手が優れた指導を受けられるよう環境整備を図る。	R1~ R3	(3,060)	スポーツ
		新	小事業：ドリームミーティング 2020東京オリンピック・パラリンピックに出場した本県関係アスリートや世界的に活躍する(した)アスリートと身近に交流することで、東京大会で得た経験や心構え及びスポーツを通して学んだこと(夢・挑戦・チームワーク・リーダーシップ等)を、次代を担う若手アスリートや子どもたち及び県民に広く伝えるための機会を創出する。	R1~ R3	(646)	スポーツ
		新	☆ 地域連携型人材育成事業(双葉地区教育構想) ふたば未来学園高校トップアスリート系列(バドミントン競技、レスリング競技)に対し、専任コーチを招聘しての競技力向上を図る。	R1~ R3	(18,471)	スポーツ
					R1~ R3	25,897

今後の 取組	新規	重点 所管	主 要 事 業 等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位:千円)	担当課室
競技力の 向上 (続き)	-新	県 ☆	<p>ふくしまゴルフプロジェクト「ふくしまゴルフ人材育成事業 ・交流拡大事業」</p> <p>県内において、プロで活躍する人材の育成やゴルフを通じた交流拡大、子どもたちの健全育成、高齢者の健康寿命の延伸に向け、LPGAのスペシャルコーチを招聘した事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校出前講座 2 スナックゴルフ教室 3 指導者養成事業 4 ジュニアゴルフ塾 5 親子ふれあいスナックゴルフ教室・大人の健康づくり教室 	R1~ R2	8,509	スポーツ 地域政策

(19) 私立学校の振興を図ります

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 私学の自主性を尊重しながら、私学助成の充実を図るとともに、私立学校における教育改革などの取組を支援します。
- ・ 私立学校に在籍する生徒等の経済的負担の軽減を図ります。
- ・ 私立学校に在籍する生徒の就職活動を支援します。
- ・ 学校経営の健全化などに向けた取組を支援します。

【東日本大震災・原子力災害を経て】

- ・ 被災した私立学校や子どもたちへの支援を推進します。

※凡例 **新**：新規事業 **一新**：新規内容を一部付加した事業 **県**：県重点事業 **☆**：知事部局所管事業
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号）
 R2 当初予算額（ ）内は
 大事業の中の内数

今後の取組	重点新規所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位：千円)	担当課室
私学助成の充実	県☆	福島県私学振興会貸付金 （公社）福島県私学振興会が、私立学校の教育条件の維持・向上のため施設整備事業や災害復旧事業等のために私立学校に対し融資する原資を同振興会へ貸付けることにより、保護者の負担の軽減等に資する。	S59～	602,095	私学・法人
	☆	私立学校運営費補助金（一般分） 私立学校の教育条件の向上や保護者の負担軽減、経営基盤の安定のため、学校運営に係る経常経費の一部を助成する。 また、東日本大震災に起因する事情により、児童生徒等数が減少したことに伴う授業料等納付金の減収額の一部を補助する。	S51～	6,494,707*	私学・法人
	☆	私立小中学校少人数教育推進事業補助金 私立小学校・中学校において少人数教育を推進するため、30人程度学級編制導入やティーム・ティーチングを実施する私立学校に対して支援を行う。	H14～	22,400	私学・法人
	☆	認定こども園等の環境整備等事業（幼児教育の質の向上のための緊急環境整備） 認定こども園等に対して遊具、運動用具、教具等、教育の質の向上に必要な経費を助成する。	H25～	26,000	私学・法人
	☆	認定こども園等の環境整備等事業（認定こども園等教育の質の向上の研修支援事業） （再掲36頁）	H25～	1,800	私学・法人
	☆	認定こども園等の環境整備等事業（認定こども園等への円滑な移行の準備支援事業） 認定こども園等へ移行するための申請書作成等の業務を行う事務職員等の雇用や、外部の業者に委託する場合に係る費用を補助する。	H28～	800	私学・法人

*・・・子ども・子育て支援新制度開始により施設給付へ移行した幼稚園に係る運営費補助は除外

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位:千円)	担当課室
私学助成の充実 (続き)	☆		認定こども園等の環境整備等事業（園務改善のためのICT化支援事業） 幼稚園教諭の業務負担の軽減を目的とした支援システムを、導入又は更新する場合の費用を補助する。	H29~	3,240	私学・法人
	県	☆	私立幼稚園子育て支援推進事業 保護者の育児に対する経済的・精神的負担の軽減や、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を図るため、私立幼稚園等が行う子育て支援活動を支援する。	H17~	405,700*	私学・法人
	☆		私立幼稚園心身障がい児教育費補助金 障がい児を受け入れる私立幼稚園等に対して経費の一部を助成し、障がい児の受入れを促進する。	S56~	288,904	私学・法人
	☆		私立幼稚園教育振興事業補助金 学校法人以外の私立幼稚園の教育条件の向上と保護者の負担軽減を図るため、学校運営に係る経常経費の一部を助成する。また、東日本大震災に起因する事情により、園児数が減少したことに伴う授業料等納付金の減収額の一部を補助する。	H9~	19,741	私学・法人
	☆		私立専修学校運営費補助 私立専修学校の教育条件の向上、保護者の負担軽減、経営基盤の安定を図るため、学校運営に係る経常経費の一部を助成する。	S55~	98,525	私学・法人
	☆		私立専修学校振興助成事業補助 学校法人以外の私立専修学校の教育内容の充実強化と保護者の負担軽減、経営基盤の安定を図るため、学校運営に係る経常経費の一部を助成する。	H12~	1,819	私学・法人
	☆		福島県私立学校教職員退職手当資金給付事業補助 県私立学校教職員退職金財団が行う退職金手当給付事業の一部を助成し、制度を充実することにより、教職員の雇用条件を向上させ、優秀な教職員の確保や、私立学校の教育条件の向上、私学の振興を図る。	S55~	191,806	私学・法人
	☆		私立学校教職員共済事業補助 日本私立学校振興・共済事業団の長期給付事業に対し一部を助成することにより、私立学校及び教職員の経済的負担を軽減し、私立学校の教育条件の向上、私学の振興を図る。	S52~	106,997	私学・法人
	☆		被災私立専修学校等復興支援事業補助 東日本大震災に起因する事情により私立専修学校等が行う安定的・継続的な教育環境の保障を図るための取組や、地域の安全・安心を確保するための取組に対して支援する。	H23~	4,679	私学・法人

*・・・子ども・子育て支援新制度開始により一時預かり事業に移行した幼稚園に係る子育て支援事業補助は除外

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位:千円)	担当課室
教育改革への取組の支援		☆	私立学校運営費補助金(教育改革推進特別分) 教育の質の向上を図るため、教育振興基本計画や新学習指導領を踏まえた特色ある取組を行う私立学校に対して助成を行う。	H7~	67,149	私学・法人
		☆	私立学校外国人指導助手招致事業費補助金 外国語教育の充実を図るための外国青年招致事業(JETプログラム)を活用して外国語指導助手を雇用する私立小・中・高等学校に対して、配置に係る経費の一部を補助する。	H29~	7,881	私学・法人
在籍する生徒等の経済的負担の軽減		県 ☆	私立学校被災児童生徒等就学支援 東日本大震災により被災した児童生徒等の就学を支援するために授業料等減免措置を行った私立学校に対して減免相当額を補助する。	H23~	118,377	私学・法人
		☆	高等学校等就学支援金 私立高等学校等の保護者の経済的負担の軽減により教育の機会均等を図るため、生徒に対する授業料に充てるための就学支援金を支給する。	H22~	3,099,775	私学・法人
		県 ☆	私立高等学校就学支援事業 経済的な理由により就学が困難な生徒に対して私立高等学校が授業料を減免した場合、その減免額を学校に助成して生徒の就学機会の確保を図る。	S56~	80,045	私学・法人
		県 ☆	私立専修学校就学支援事業 経済的な理由により就学が困難な生徒に対して私立専修学校(高等課程)が授業料を減免した場合、その減免額を学校に助成して生徒の就学機会の確保を図る。	H18~	18,307	私学・法人
		県 ☆	私立中学校等児童生徒授業料負担軽減事業 授業料負担軽減のため、私立小・中学校に通う児童生徒がいる世帯に対し、年収に応じて授業料への助成を行う。	H29~	7,948	私学・法人
		県 ⑤	被災児童生徒等就学支援事業(再掲43頁)	H23~	512,819	義務教育
		県 ⑤ ⑤	高校等奨学資金貸付事業(再掲44頁) 高校等奨学資金給付事業(再掲44頁)	H17~ H26~	246,600 728,880	高校教育
在籍する生徒の就職活動の支援		県 ☆	ふくしまで生活基盤を築くための私立高校生等支援事業 進路アドバイザーを県内各地域に配置して各私立高等学校や私立専修学校(高等課程)と連携を図ることにより、就職を希望する生徒の職業生活の向上や生活基盤の安定を支援する。	H28~	25,861	私学・法人

今後の 取組	新規	重点 所管	主 要 事 業 等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位:千円)	担当課室
学校経営の 健全化など に向けた 取組の支援		☆	学校運営状況調査 県から運営費補助金の交付を受けた学校法人等に対し、補助事業の実績の確認や補助金算定に関する計数把握を行い、私立学校の適正な運営と健全な財務運営、合理的な経営に資するため、私立学校振興助成法第12条及び第16条の規定に基づき調査を実施する。	H5~		私学・法人
被災した 私立学校や 子どもたち への支援		☆	私立学校設備整備事業等補助金 東日本大震災により被害を受けた私立学校に対して復旧費用を国庫補助と並行して補助する。	H23~	450	私学・法人
		県	私立学校被災児童生徒等就学支援（再掲51頁）	H23~	118,377	私学・法人
		☆ 県	ふくしまで生活基盤を築くための私立高校生等支援事業（再掲51頁）	H28~	25,861	私学・法人
		☆	未来を担う子どもたちの安心就学環境支援事業（再掲45頁）	H25~	15,000	私学・法人
		県	未来の子どもを守る食の安全確保事業（再掲45頁）	H25~	1,390	私学・法人
		☆	私立学校運営費補助金（一般分）（再掲49頁）	S51~	6,494,707	私学・法人

(20) 社会情勢や環境の変化に対応した学校づくりを推進します

【総合教育計画における基本的方向性】

- ・ 個に応じたきめ細かな指導が可能となるよう、小・中学校において少人数教育の充実を図ります。
- ・ 過疎・中山間地域の特性・実情等を考慮しながら、小・中学校の学習環境の充実を図ります。
- ・ 高等学校の生徒一人一人の進路希望実現のため、特色ある学校づくりを進めるとともに、過疎・中山間地域の特性・実情等も十分に考慮しながら、学校規模の適正化を図ります。
- ・ 県立高等学校全日制普通科の通学区域の適正化について、検討を進めます。
- ・ 中高一貫教育の特色を生かし、より効果的な教育を進めます。
- ・ 児童生徒数が増加し、教育環境の改善が必要となっている特別支援学校の在り方について、複数の障がいに対応する特別支援学校の要否も含めて検討しながら改善を図ります。

[東日本大震災・原子力災害を経て]

- ・ 子どもたちの教育を受ける機会を確保するため、高等学校については、避難地域における復興状況や志願動向等を踏まえつつ、サテライト校の教育環境の整備を引き続き進めるとともに、小・中学校についても、避難地域等の学校や避難者を多く受け入れている学校を中心に十分な支援を行います。

また、特別支援学校についても、東日本大震災・原子力災害後における中・長期的な見通しに立って、教育環境の整備・充実を図ります。

※凡例 (新)：新規事業 (一)新：新規内容を一部付加した事業 (県)：県重点事業 ☆：知事部局所管事業
 ①～⑤：「頑張る学校応援プラン」に対応する事業（数字は主要施策の番号）
 R2当初予算額（ ）内は 大事業の中の内数

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位：千円)	担当課室
少人数教育によるきめ細かな指導		①	少人数教育推進事業 個に応じたきめ細かな指導が可能となるよう、小学校、中学校において30人学級、30人程度学級編制に必要な教員を配置する。	H14~	5,842,993	義務教育
		☆	私立小中学校少人数教育推進事業補助金(再掲49頁)	H14~	22,400	私学・法人
特色ある学校づくり			特色ある教育課程の編成 高等学校において、地域の特色や生徒の能力・適性、興味・関心、進路希望等に対応した教育課程の編成を進める。 特色ある教育課程の編成を行う学校に対して人的な面での支援を行う。			高校教育
	(一)新	(県)	ふたば未来学園運営管理事業 ④ 小事業：寄宿舎運営管理経費 ふたば未来学園中学校・高校の寮及び食堂の施設を運営するための事業を行う。	H26~ H27~	170,266 (122,443)	県立高校効率 県立高校効率
		(県)	ふたば未来学園中学校・高等学校整備事業 ④ ふたば未来学園中学校・高等学校の学校施設を整備し、生徒の学習及び生活環境の確保・充実を図る。	H28~ H32	188,542	施設財産
		(県)	聴覚支援学校寄宿舎整備事業 ⑤ 生徒の安全安心な住環境を確保するため、建物の老朽化が著しい聴覚支援学校寄宿舎の改築を行う。	H29~ H32	436,562	施設財産

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位：千円)	担当課室
特色ある学校づくり (続き)		県④	小高統合高等学校教育環境整備事業 小高産業技術高校の通学バスを運行し、通学時における安全、安心を確保する。	H28~	44,731	県立高効率
		県④	福島県教育復興推進事業	H27~	46,474	高校教育 義務教育 イノベ機構
			小事業：双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事業 双葉郡教育復興ビジョンを推進するため、「ふるさと創造学」を始めとした双葉郡内8町村の小中学校での教育活動を推進協議会事務局と連携し支援する。	H27~	(17,030)	義務教育 イノベ機構
			小事業：ふたば未来学園教育活動充実事業 未来創造型教育を実践するふたば未来学園中学校・高校において外部講師の招へい、フィールドワーク、連携中学校との交流等の教育活動を支援する。	H27~	(26,523)	高校教育
			小事業：南相馬地域高等学校支援事業 避難により人口減少が著しい南相馬地域において、各学校の特色を生かし、地方創生を担う人材を育成するため、教育活動を支援する。	H28~	(2,921)	高校教育
		県④	福島県教育復興推進事業(12市町村教育復興推進事業) 避難地域12市町村において、優れた人材を外部講師に招へいするなどして、ふるさとの復興に向けた授業づくりや、魅力ある学校づくりを行うために必要な教職員研修等を実施する。	H30~	◇31,808	イノベ機構
		県③	県立高校コミュニティ・スクール推進事業 今年度導入した湖南、西会津、川口、次年度導入する川俣、猪苗代、只見の県立高校6校において、教職員、地域住民対象の研修会や講演会、生徒対象のワークショップを開催し、地域住民が学校の地域課題探究活動に主体的に関わる意識を醸成し、生徒・学校・地域が一体となった「学校を核とした地域づくり」を支援する。	H31~	3,720	高校教育
		新県③④	⑤ 夜間中学調査・研究事業 (再掲32頁) ③ ④ ふくしま創生人財育成事業 全県立高等学校で地域課題探究活動を推進するために、高校生によるふくしま創生サミットや社会貢献活動コンテストなどを開催する。また、モデル事業として、会津地区の拠点校2校に「地域コーディネーター」を配置し、該当校の探究学習を充実させる。 加えて、県立高等学校30校を指定し、各高校の特色ある様々な教育を支援する。	H30~ R2~	521 18,523	義務教育 高校教育

◇・・・国からイノベ機構への直接委託事業であるが、県教委も積極的に事業に関与する。

今後の取組	新規 重点 所管	主要事業等	実施 期間	R2 当初予算額 (単位：千円)	担当課室
過疎・中山間地域における小・中学校の学習環境の充実		地域の実態に応じた教員の配置 経験豊かな教職員を地域の実情に応じて配置して十分な教育活動が展開できるよう支援する。 また、変則複式学級、飛び複式の学級や、15人構成、16人構成の複式学級を持つ小学校と、複式学級を持つすべての中学校に、非常勤講師を配置する。			義務教育
県立高等学校の学校規模の適正化	④	学校改革推進事業 小事業：高校改革懇談会事業 各地区で「高等学校改革懇談会」等を開催し、市町村関係者、学校関係者等に対して、統合・募集停止等に関する説明を行い、意見を聴取し、今後の施策の参考とする。 小事業：中高一貫教育連絡協議会事業 双葉郡内町村立中学校とふたば未来学園高等学校の連携を推進するため「双葉地区中高連携協議会」を開催する。連携型中高一貫教育を実施している4校と関係機関による「連携型中高一貫教育連絡協議会」を開催し、連携事業の成果と課題を検証する。 小事業：中高一貫教育推進事業 連携型中高一貫教育を実施している4校で、連携する中学校との交流授業や、キャリア教育、地域理解教育、環境教育等を行う。	H8~	3,468 (2,753)	県立高校改革 県立高校改革
			H28~	(284)	県立高校改革
			H27~	(431)	県立高校改革
		③	県立高校再編整備事業 県立高等学校改革前期実施計画に基づき、統合を予定している学校等について、再編に必要となる施設・設備の整備等を行う。		241,887
	③	県立高校コミュニティ・スクール推進事業 (再掲54頁)	H31~	3,720	高校教育
通学区域の適正化		通学区域についての検討 平成21年度県立高等学校入学者選抜から、隣接学区からの入学許可者を20%以内として3年後に再検討することとしていたが、東日本大震災の影響により現行の通学区域制度の検証が困難となっているため、当面の間、検討を継続する。	H21~		高校教育
中高一貫教育の推進		中高一貫教育校の効果的な運営と教育内容の改善 ゆとりある教育の中で生徒一人一人の能力・適性などを育み、国際人として世界で活躍できる人づくりを行うことや、キャリア教育により地域が求める人づくりなどを推進するため、併設型公立中高一貫教育校と連携型中高一貫教育校のより効果的な運営と、教育内容の改善を進める。	H17~		高校教育
	④	ふたば未来学園中学校・高等学校整備事業 (再掲53頁)	H28~ H32	188,542	施設財産

今後の取組	新規	重点所管	主要事業等	実施期間	R2当初予算額 (単位:千円)	担当課室
中高一貫教育の推進 (続き)		県④	双葉地区教育構想(国際人育成プラン)(再掲27頁)	H18~	1,570	高校教育
			会津学鳳中学校・高等学校における国際化社会、情報化社会のリーダーとして活躍できる人づくり(再掲27頁)	H19~		高校教育
	一新	県④	ふたば未来学園運営管理事業(再掲53頁)	H26~	170,266	県立高校改革
		☆	地域連携型人材育成事業(双葉地区教育構想)(再掲48頁)	R1~ R3	25,897	スポーツ
特別支援学校の在り方の検討	一新	県⑤	特別支援学校整備事業 特別支援学校への入学を希望する児童生徒の増加による教室の過密化や遠距離からの通学による児童生徒への負担軽減を図るため、学校や分校等を設置し、教育環境を充実させる。 1 聴覚支援学校福島校整備事業 2 相馬支援学校整備事業 3 伊達地区特別支援学校整備事業	H27~	2,285,906	施設財産
	一新	⑤	県立特別支援学校学習環境整備事業 特別支援学校の学習環境整備のため、学校設置準備委員会の実施、新たな施設の供用開始に伴う物品の整備、老朽化した遊具の撤去・更新を行う。 小事業：県立特別支援学校学習環境整備事業 県立特別支援学校全体整備計画等に基づき整備する特別支援学校の学校備品や、教材・教具等を整備する。	H28~	58,770	特別支援教育
			小事業：県立特別支援学校遊具整備事業 特別支援学校における幼児児童の安全を確保し、学習環境の充実を図るため、老朽化のため使用できない遊具の更新を行う。	H28~	(50,963)	特別支援教育
	新	⑤		R2~	(7,807)	特別支援教育
サテライト校の教育環境整備		県	サテライト校等支援事業 静岡県にも校舎を持つふたば未来学園高校に対し、生徒が一堂に会する機会を作り、生徒の一体感を高める取組を支援する。	H23~	4,838	高校教育
被災した市町村立学校への適切な教員配置		⑤	復旧・復興の基盤づくりのための教員配置 震災の被災児童生徒に対し、日常的な心のケアやきめ細かな学習支援をするための教員を配置する。	H24~	3,435,304	義務教育

事業名索引（五十音順） 主要施策①～⑤は「頑張る学校応援プラン」の主要施策

	主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
字		2020 東京オリンピック・パラリンピック関連復興推進事業	47	
A		A D H D通級指導教室講師配置	21	
	①②	A I時代を生き抜く読解力向上事業	14	
G	①	G I G Aスクール構想実現事業	23	
I		I C Tを活用した学習活動の推進	23	
P		P T A連合会等の支援	31	
S		S N Sを活用した子どもの心サポート事業	9	
あ		アートによる新生ふくしま交流事業	35	46
		会津学鳳中学校・高等学校における国際化社会、情報化社会のリーダーとして活躍できる人づくり	27	56
		会津大学運営費交付金	28	24、27
		会津大学講義室機器等整備事業	28	
		会津大学実習実験機器等整備事業	28	
		アクアマリンふくしまの整備・充実	32	
		安全・安心のための学校給食環境整備事業	45	
い		医科大学運営費交付金	28	27
		医科大学教育・研究機器整備事業	28	
		いじめ問題対策委員会事業	8	
		インターンシップによる産業人材育成事業	18	
う		うつくしま教育ネットワーク事業	23	16
え	①④	英語でつなぐ復興の架け橋支援事業	25	
お	①②	オールふくしま学力向上推進事業	14	
		「尾瀬子どもサミット」小・中学生3県交流事業	34	
	④	小高統合高等学校教育環境整備事業	54	
	④	オリンピック・パラリンピック教育推進事業	11	47
か		外国語指導助手の指導力向上研修	26	
		外国語指導助手の母国の文化や習慣を学ぶ機会の提供	25	
		外国人児童生徒等への支援体制の整備	26	
		科学・技術研究論文募集事業(野口英世賞)	16	
		「科学の甲子園」福島県大会事業	14	
		家族で学ぶ防災セミナー	16	
		学校・家庭・地域連携サポート事業	30	29
		学校安全教室推進事業	43	
		学校安全計画の充実などによる安全体制の整備	42	
		学校運営状況調査	52	
	④	学校改革推進事業	55	
	⑤	学校給食安全・安心対策推進事業	45	
		学校給食検査体制支援事業	45	
		学校給食モニタリング事業	45	
		学校教育相談員活動経費	9	
		学校欠席者サーベイランス事業	12	
	①②	学校すこやかプラン	10	12
		学校図書館活動の支援	10	30

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
か	学校における読書活動の推進	13	
	学校の教育活動(全体)を通じた道徳教育の充実	7	
	② 学校の組織運営体制の改善	38	
	② 学校評価の充実	40	
	②③ 学校評議員制度の導入の促進	40	29
	②③ 学校評議員による学校関係者評価の実施	40	29
	「学校へ行こう運動」の推進	41	
	家庭教育の情報や資料の提供	31	
	管理監督者メンタルヘルス研修事業	39	
き	寄宿舎運営管理経費	53	
	① 教育コンピュータ整備事業	24	
	⑤ 教育相談推進事業(ピュアハートサポートプロジェクト)	9	14、42
	⑤ 教員研修の充実	22	
	教員の多忙化解消のための取組	38	
	教員の服務倫理に関する研修の充実	36	
	教科等における言語活動の充実	13	
	教師のための次世代育成成人権セミナー	10	
	教職員健康管理事業	38	
	教職員相談事業	39	
	② 教職員の資質向上に向けた研修の充実	36	
	教職員の服務倫理の確立のための取組	36	41
	切れ目のない支援体制整備充実事業	20	22
	緊急時カウンセラー派遣事業	9	
	緊急時スクールカウンセラー派遣事業(災害分)	9	
	緊急スクールカウンセラー等派遣事業(スクールカウンセラー等派遣事業)	9	
く	①② グローバル人材を育成する英語教育強化事業	26	15
け	元気キッズサポーター事業	11	
	健康教育推進者研修会	10	
	県展開催事業	46	
	県民カレッジ推進事業	33	33
	⑤ 県有施設維持補修事業	43	
	② 県立学校IT環境整備事業	23	
	県立学校教員人事公募選考制度	36	
	県立学校空調設備整備事業	45	
	県立学校施設応急仮設校舎等設置事業	45	43
	県立学校施設等災害復旧事業	45	
	県立学校等自動体外除細動器整備事業	43	
	県立学校における森林環境学習推進事業	34	
	県立学校ブロック塀緊急対策事業	43	
	③ 県立高校コミュニティ・スクール推進事業	54	29、55
	県立高校再編整備事業	55	
	⑤ 県立特別支援学校学習環境整備事業	56	22
	⑤ 県立特別支援学校学遊具整備事業	56	22
	県立図書館の整備・充実	32	

	主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
け		県立博物館の整備・充実	32	
		県立美術館の整備・充実	32	
こ	④	工業人材育成事業	18	
		高校改革懇談会事業	55	
	⑤	高校等奨学資金貸付事業	44	51
	⑤	高校等奨学資金給付事業	44	51
	②	校長・教頭のためのマネジメント講座	40	
	⑤	高等学校学習支援推進事業	21	
		高等学校通学費支援事業	44	
		高等学校等就学支援金	43	
		高等学校等就学支援金	51	44
		高等学校における進路決定能力等の育成	17	
		高等学校における通級による指導の推進	21	
		校内研修の充実	22	
		公民館主事等の研修の充実	30	
	③⑤	合理的配慮調査事業	21	21
		公立図書館の連携による読書環境の整備・促進	30	
		「交流及び共同学習」の促進	20	
	①	語学指導等を行う外国青年招致事業	26	
		国際理解・国際交流論文募集事業(朝河貫一賞)	25	
		こどもの夢を応援する事業	44	
		「個別の支援計画」の作成と活用の促進	20	
さ		災害こころの医学講座ほか設置事業	28	
		サテライト校等支援事業	56	
		サポートティーチャー派遣事業	14	
し		視覚障がい支援講師配置	21	
		視覚障がいに応じた教材教具貸与事業	21	
		司書研修会の実施	30	
		次世代スクールプロジェクト事業	10	
		自然の家の利用促進	34	8、33
		市町村教育委員会等への情報提供と感染予防・拡大防止	42	
		市町村立学校施設の耐震化の促進	43	
		市町村立学校における職場体験活動の促進	17	
		指定文化財保存活用事業	35	
	②③	児童生徒の体力向上推進事業	12	
		児童生徒の発達段階に応じた体験活動の推進	8	
		指導不適切教諭等の資質向上事業	37	
		自分手帳活用事業	11	
		社会教育研修会の充実	30	
		ジュニア強化指定事業	47	
		小・中学校における勤労観・職業観の基盤形成	17	
		小・中学校における児童生徒の安全確保の促進	43	
		小学校外国語活動講座	26	
	①	少人数教育推進事業	53	8、13
		情報化対応研修の充実	23	

	主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ		
し	①③	情報発信プロジェクト	10			
		情報モラル教育に関する教材の開発や実践事例の提供等	23			
		情報モラル教育の充実やネット被害等から児童生徒を守るための環境の整備	42			
		食習慣・肥満等の健康教育に係る専門家派遣事業	11	12		
		白河館管理運営業務委託	35			
		私立学校運営費補助金（一般分）	49	52		
		私立学校運営費補助金（教育改革推進特別分）	51			
		私立学校外国人指導助手招致事業費補助金	51			
		私立学校教職員共済事業補助	50			
		私立学校設備整備事業等補助金	52			
		私立学校被災児童生徒等就学支援	51	44、52		
		私立高等学校就学支援事業	51	45		
		私立小中学校少人数教育推進事業補助金	49	8、13、53		
		私立専修学校運営費補助	50			
		私立専修学校就学支援事業	51	45		
		私立専修学校振興助成事業補助	50			
		私立中学校等児童生徒授業料負担軽減事業	51			
		私立幼稚園教育振興事業補助金	50			
		私立幼稚園子育て支援推進事業	50	10		
		私立幼稚園心身障がい児教育費補助金	50	10、20		
		す	①	人権教育開発事業（ピュアハートサポートプロジェクト）	7	
				震災原発災の経験・教訓、復興状況伝承事業（ジャーナリストスクール開催事業）	8	
				新時代の学校におけるICT環境研究開発事業	23	
人事評価についての研修充実事業	36					
身体に障がいのある生徒に対する支援事業	21					
② 新任校長・副校長・教頭・主幹教諭研修会	40					
スーパーサイエンスハイスクール事業	15					
スクールカウンセラー活用事業（高等学校）	9					
⑤ スクールカウンセラー活用事業（ピュアハートサポートプロジェクト）	9			42		
スクールカウンセラー派遣事業	9					
せ		スクールソーシャルワーカー派遣事業	9			
		スポ・ボラレガシー化事業	47			
		スポーツふくしまライジングプロジェクト	47			
		声楽アンサンブルコンテスト全国大会開催事業	46			
		生徒指導アドバイザー派遣事業	9			
		生徒の心のサポートのための学習支援事業	9			
		「せせらぎスクール」への取組の推進	34			
		先端技術体験事業	15	15		
		専門アドバイザー派遣事業	11			
		専門高校高度人材育成事業	18			
そ た		専門高校生による小中学生体験学習応援事業	19			
		そなえるふくしま防災事業	16			
		大学進学のための学力向上推進事業	14			

	主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
た	⑤	大学等奨学資金貸付事業	44	
	⑤	大規模改造事業	43	
		体力向上ムーブメント事業	11	
ち		地域学校協働活動事業	29	30、38、43
	③⑤	地域学校協働本部事業	29	30、38、43
	③	地域でつながる家庭教育応援事業	31	
	④	「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進	21	
	①③	地域と共に創る放射線・防災教育推進事業	16	
		地域との協働による高等学校教育改革推進事業	25	
		地域の実態に応じた教員の配置	55	16
		「地域のたから」民俗芸能総合支援事業	35	
		地域連携型人材育成事業（双葉地区教育構想）	48	56
	③④⑤	チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業	8	19、34
		中高一貫教育推進事業	55	
		中高一貫教育連絡協議会事業	55	
		中高一貫校の効果的な運営と教育内容の改善	55	
	⑤	聴覚支援学校寄宿舎整備事業	53	
		朝食について見直そう週間運動	12	
つ		通学区域についての検討	55	
		つながる食育推進事業	12	
て		デュアルシステムの活用の普及	18	
		伝統や文化に触れる機会の充実	26	
と	②	統合型校務支援システム整備事業	24	38
		道徳教育総合支援事業	7	
	④	道徳教育総合支援事業（ピュアハートサポートプロジェクト）	7	
		とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）の整備・充実	32	
	①③	読書活動支援者育成事業	10	
	①③	読書活動推進事業	10	
		特色ある教育課程の編成	53	
	②	特別支援学校教科指導充実事業	22	
	⑤	特別支援学校整備事業	56	22
	⑤	特別支援学校特別支援教育就学奨励費	44	
	⑤	特別支援学校における医療的ケア実施事業	22	
		トップコーチ養成事業	47	
		トップリーダー育成事業	17	
		ドリームミーティング	47	
に		ニューズレター発行	33	33
		認定こども園等の環境整備等事業（園務改善のための ICT 化支援事業）	50	
		認定こども園等の環境整備等事業（認定こども園等教育の質の向上の研修支援事業）	36	49
		認定こども園等の環境整備等事業（認定こども園等への円滑な移行の準備支援事業）	49	
		認定こども園等の環境整備等事業（幼児教育の質の向上のための緊急環境整備）	49	12
ね		ネクストアスリート支援事業	47	
の		農業人材育成事業	18	

	主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
は	①③	発達段階に応じた読書活動の推進事業	10	
ひ		東日本大震災・原子力災害伝承館学習活動支援事業	32	
		東日本外震災・原子力災害伝承館の管理運営事業	32	33
		東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業	33	33
		被災児童生徒就学援助事業	43	
		被災児童生徒就学援助事業（大規模災害）	44	
	⑤	被災児童生徒等修学支援事業	43	51
		被災私立専修学校等復興支援事業補助	50	
		被災ミュージアム再興事業	35	
	①②	一人一人を伸ばすふくしま学力向上推進事業	13	
ふ	②③	部活動指導員配置促進事業	38	
		ふくしま24時間子どもSOS電話相談事業	9	
	④	福島イノベーション人材育成広域連携事業	18	
	④	福島イノベーション人材育成支援事業	17	19
	④	福島イノベーション人材育成実践事業	17	18
		福島イノベ構想推進産業人材育成・確保事業	19	
	①②	「ふくしま活用力育成シート」実践事業	13	
	⑤	ふくしまから はじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業	12	
		ふくしま教職員こころのケア事業(共済組合)	39	
		ふくしまグローバルセミナー	25	
		福島県がん教育実践事業	12	10
	④	福島県教育復興推進事業	54	
	④	福島県教育復興推進事業（12市町村教育復興推進事業）	54	
		福島県高等学校総合文化祭補助金	46	35
		福島県私学振興会貸付金	49	
		福島県私立学校教職員退職手当資金給付事業補助	50	
	③	福島県地域学校協働本部事業	29	38
		ふくしま高校生リーダー育成プロジェクト	14	
		ふくしま子ども憲章推進事業	10	
		ふくしま子ども自然環境学習推進事業	34	
		ふくしまゴルフプロジェクト「ふくしまゴルフ人材育成事業・交流拡大事業」	48	
		ふくしまスーパーサイエンススクール事業	15	15
	②③	福島スクール・サポート・スタッフ事業	38	
	③④	ふくしま創生人財育成事業	54	
		ふくしまっ子体力向上プロジェクト推進事業	11	
	③⑤	ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト	11	12
	①	ふくしまで生活基盤を築くための高校生支援事業	18	
		ふくしまで生活基盤を築くための私立高校生等支援事業	51	18、52
		「ふくしま教育の日」の啓発	41	
	①②	ふくしまの学校キラリ学力向上プロジェクト	14	
	①④	ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業	18	
	①	ふくしまの未来を拓く産業人材育成事業	18	19
	①③	ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト	10	14、30
	⑤	ふくしま未来キッズワクワクプロジェクト	11	34

	主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
ふ	④	ふくしま未来の農業者 GAP 教育実践事業	19	
	④	ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業	31	8
		双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事業	54	
	④	双葉地区教育構想(国際人育成プラン)	27	56
		ふたば未来学園運営管理事業	53	
		ふたば未来学園教育活動充実事業	54	
	④	ふたば未来学園中学校・高等学校整備事業	53	55
	⑤	復旧・復興の基盤づくりのための教員配置	56	
	⑤	不登校・いじめ等対策総合推進事業(ピュアハートサポートプロジェクト)	8	42
		文学賞実施事業	46	
		文化財保存助成事業	35	
ほ		放課後子ども教室事業	29	30
		保護者への学習機会の提供	31	
		母子父子寡婦福祉資金貸付金	44	
ま		マニュアルに基づいた対応の徹底	42	
み		南相馬地域高等学校支援事業	54	
		未来の子どもを守る食の安全確保事業	45	52
		未来へチャレンジ! ふくしまスポーツ塾「福島輝く未来へ! スポーツわくわくプロジェクト」	47	
	③⑤	未来へつなぐ子育て・教育充実事業	20	21、22
	①②④	未来へはばたけ! イノベーション人材育成事業	15	15
		未来を担う子どもたちの安心就学環境支援事業	45	52
		みんなの健康応援事業(共済組合)	39	
め		めざせ! ナンバーワン専門高校支援事業	19	
も		ものづくりチャレンジ事業	19	
や	⑤	夜間中学調査・研究事業	32	54
ゆ	②	優秀教職員による学校のチーム力向上事業	37	
	②	優秀教職員表彰制度	37	
	⑤	夢に向かってテクノチャレンジ事業	22	
よ		幼児教育の振興	10	
り		理数教育優秀教員活用事業	15	15
		理数コンテスト事業	15	15
ろ		ロボット人材育成事業	18	
		論文募集事業	16	25

事業名索引 (担当課室別) 主要施策①～⑤は「頑張る学校応援プラン」の主要施策

教育総務課

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
	ふくしま子ども憲章推進事業	10	
	うつくしま教育ネットワーク事業	23	16
①	新時代の学校におけるICT環境研究開発事業	23	
①	GIGAスクール構想実現事業	23	
②	県立学校IT環境整備事業	23	

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
②	統合型校務支援システム整備事業	23	38
	「ふくしま教育の日」の啓発	41	
	「学校へ行こう運動」の推進	41	

財務課

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
	高等学校等就学支援金	43	

施設財産室

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
①	教育コンピュータ整備事業	24	
⑤	大規模改造事業	43	
⑤	県有施設維持補修事業	43	
	県立学校ブロック塀緊急対策事業	43	
	市町村立学校施設の耐震化の促進	43	
	県立学校施設等災害復旧事業	45	
	県立学校施設応急仮設校舎等設置事業	45	43
	県立学校空調設備整備事業	45	
④	ふたば未来学園中学校・高等学校整備事業	53	55
⑤	聴覚支援学校寄宿舍整備事業	53	
	県立高校再編整備事業	55	
⑤	特別支援学校整備事業	56	22

職員課

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
	教職員の服務倫理の確立のための取組	36	41
②	優秀教職員による学校のチーム力向上事業	37	
②	優秀教職員表彰制度	37	
	指導不適切教諭等の資質向上事業	37	
	教員の多忙化解消のための取組	38	

福利課

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
	教職員健康管理事業	38	
	ふくしま教職員こころのケア事業(共済組合)	39	
	管理監督者メンタルヘルス研修事業	39	
	みんなの健康応援事業(共済組合)	39	
	教職員相談事業	39	

社会教育課

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
③④⑤	チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業	8	19、34
	児童生徒の発達段階に応じた体験活動の推進	8	
①③	ふくしまの未来をひらく読書のカ プロジェクト	10	14、30
	読書活動推進事業	10	
	読書活動支援者育成事業	10	
	発達段階に応じた読書活動の推進事業	10	
	情報発信プロジェクト	10	
	学校図書館活動の支援	10	30
⑤	ふくしま未来キッズワクワクプロジェクト	11	34
	学校における読書活動の推進	13	
③⑤	地域学校協働本部事業	29	30、38、43
	地域学校協働活動事業	29	30、38、43
③	福島県地域学校協働本部事業	29	38
	放課後子ども教室事業	29	30
	学校・家庭・地域連携サポート事業	30	29
	社会教育研修会の充実	30	
	公民館主事等の研修の充実	30	
	公立図書館の連携による読書環境の整備・促進	30	
	司書研修会の実施	30	
④	ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業	31	8
	保護者への学習機会の提供	31	
③	地域でつながる家庭教育応援事業	31	
	家庭教育の情報や資料の提供	31	
	PTA連合会等の支援	31	
	県立図書館の整備・充実	32	
	県立美術館の整備・充実	32	
	県立博物館の整備・充実	32	
	東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業	33	33
	自然の家の利用促進	34	8、33

文化財課

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
	文化財保存助成事業	35	
	指定文化財保存活用事業	35	
	白河館管理運営業務委託	35	
	被災ミュージアム再興事業	35	

義務教育課

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
④	道徳教育総合支援事業(ピュアハートサポートプロジェクト)	7	
	学校の教育活動(全体)を通じた道徳教育の充実	7	
	道徳教育総合支援事業	7	

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
①	人権教育開発事業(ピュアハートサポートプロジェクト)	7	
	児童生徒の発達段階に応じた体験活動の推進	8	
⑤	不登校・いじめ等対策総合推進事業(ピュアハートサポートプロジェクト)	8	42
⑤	教育相談推進事業(ピュアハートサポートプロジェクト)	9	14、42
	学校教育相談員活動経費	9	
	緊急時カウンセラー派遣事業	9	
	スクールカウンセラー派遣事業	9	
	スクールソーシャルワーカー派遣事業	9	
	ふくしま24時間子ども SOS 電話相談事業	9	
	幼児教育の振興	10	
	学校における読書活動の推進	13	
	教科等における言語活動の充実	13	
①②	一人一人を伸ばすふくしま学力向上推進事業	13	
①②	「ふくしま活用力育成シート」実践事業	13	
①②	ふくしまの学校キラリ学力向上プロジェクト	14	
	AI時代を生き抜く読解力向上事業	14	
	サポートティーチャー派遣事業	14	
	理数教育優秀教員活用事業	15	15
	理数コンテスト事業	15	15
	先端技術体験事業	15	15
	ふくしまスーパーサイエンススクール事業	15	15
	論文募集事業	16	25
①③	地域と共に創る放射線・防災教育推進事業	16	
	そなえるふくしま防災事業	16	
	親子で学ぶ防災セミナー	16	
	小・中学校における勤労観・職業観の基盤形成	17	
	市町村立学校における職場体験活動の促進	17	
	専門高校生による小中学生体験学習応援事業	19	
	ICTを活用した学習活動の推進	23	
	情報化対応研修の充実	23	
	情報モラル教育に関する教材の開発や実践事例の提供等	23	
	国際理解・国際交流論文募集事業(朝河貫一賞)	25	
	外国語指導助手の母国の文化や習慣を学ぶ機会の提供	25	
	ふくしまグローバルセミナー	25	
	伝統や文化に触れる機会の充実	26	
	小学校外国語活動講座	26	
	外国語指導助手の指導力向上研修	26	
	外国人児童生徒等への支援体制の整備	26	
⑤	夜間中学調査・研究事業	32	54
	「尾瀬子どもサミット」小・中学生3県交流事業	34	
	「せせらぎスクール」への取組の推進	34	
	ふくしま子ども自然環境学習推進事業	34	
	人事評価についての研修充実事業	36	
②	教職員の資質向上に向けた研修の充実	36	
	教員の服務倫理に関する研修の充実	36	

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
	教職員の服務倫理の確立のための取組	36	41
②③	福島スクール・サポート・スタッフ事業	38	
	学校の組織運営体制の改善	38	
②③	学校評議員制度の導入の促進	40	29
②	学校評価の充実	40	
②	新任校長・副校長・教頭・主幹教諭研修会	40	
②	校長・教頭のためのマネジメント講座	40	
⑤	被災児童生徒等修学支援事業	43	51
	被災児童生徒就学援助事業	43	
	被災児童生徒就学援助事業(大規模災害)	44	
①	少人数教育推進事業	53	8、13
④	福島県教育復興推進事業	54	
	双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事業	54	
	地域の実態に応じた教員の配置	55	16
⑤	復旧・復興の基盤づくりのための教員配置	56	

高校教育課

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
⑤	スクールカウンセラー活用事業(ピュアハートサポートプロジェクト)	9	42
	スクールカウンセラー活用事業(高等学校)	9	
	緊急時スクールカウンセラー派遣事業(災害分)	9	
	生徒指導アドバイザー派遣事業	9	
	いじめ問題対策委員会事業	9	
	生徒の心のサポートのための学習支援事業	9	
	SNSを活用した子どもの心サポート事業	9	
	学校における読書活動の推進	13	
	教科等における言語活動の充実	13	
①②	オールふくしま学力向上推進事業	14	
	ふくしま高校生リーダー育成プロジェクト	14	
	大学進学のための学力向上推進事業	14	
	「科学の甲子園」福島県大会事業	14	
	スーパーサイエンスハイスクール事業	15	
	論文募集事業	16	25
	科学・技術研究論文募集事業(野口英世賞)	16	
④	福島イノベーション人材育成支援事業	17	19
④	福島イノベーション人材育成実践事業	17	18
	トップリーダー育成事業	17	
	高等学校における進路決定能力等の育成	17	
①	ふくしまの未来を拓く産業人材育成事業	18	19
	インターンシップによる産業人材育成事業	18	
①	ふくしまで生活基盤を築くための高校生支援事業	18	
①④	ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業	18	
	デュアルシステムの活用の普及	18	
	工業人材育成事業	18	

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
	農業人材育成事業	18	
④	福島イノベーション人材育成広域連携事業	18	
	専門高校高度人材育成事業	18	
	ロボット人材育成事業	18	
④	ふくしま未来の農業者 GAP 教育実践事業	19	
	専門高校生による小中学生体験学習応援事業	19	
	めざせ！ナンバーワン専門高校支援事業	19	
	ものづくりチャレンジ事業	19	
	身体に障がいのある生徒に対する支援事業	21	
	高等学校における通級による指導の推進	21	
	ICTを活用した学習活動の推進	23	
	情報化対応研修の充実	23	
	情報モラル教育に関する教材の開発や実践事例の提供等	23	
	外国語指導助手の母国の文化や習慣を学ぶ機会の提供	25	
①④	英語でつなぐ復興の架け橋支援事業	25	
	ふくしまグローバルセミナー	25	
④	地域との協働による高等学校教育改革推進事業	25	
①②	グローバル人材を育成する英語教育強化事業	26	15
①	語学指導等を行う外国青年招致事業	26	
④	双葉地区教育構想(国際人育成プラン)	27	56
	会津学鳳中学校・高等学校における国際化社会、情報化社会のリーダーとして活躍できる人づくり	27	56
	県立学校における森林環境学習推進事業	34	
	県立学校教員人事公募選考制度	36	
	人事評価についての研修充実事業	36	
②	教職員の資質向上に向けた研修の充実	36	
	教員の服務倫理に関する研修の充実	36	
	教職員の服務倫理の確立のための取組	36	41
	学校の組織運営体制の改善	38	
②③	学校評議員による学校関係者評価の実施	40	29
②	新任校長・副校長・教頭・主幹教諭研修会	40	
②	校長・教頭のためのマネジメント講座	40	
	情報モラル教育の充実やネット被害等から児童生徒を守るための環境の整備	42	
⑤	高校等奨学資金貸付事業	44	51
⑤	大学等奨学資金貸付事業	44	
⑤	高校等奨学資金給付事業	44	51
	福島県高等学校総合文化祭補助金	46	35
	特色ある教育課程の編成	53	
③④	ふくしま創生人材育成事業	54	
③	県立高校コミュニティ・スクール推進事業	54	29、55
	通学区域についての検討	55	
	中高一貫校の効果的な運営と教育内容の改善	55	
	サテライト校等支援事業	56	

県立高校改革室

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
	高等学校通学費支援事業	44	
④	ふたば未来学園運営管理事業	53	
	寄宿舎運営管理経費	53	
④	小高統合高等学校教育環境整備事業	54	
④	福島県教育復興推進事業	54	
	ふたば未来学園教育活動充実事業	54	
	南相馬地域高等学校支援事業	54	
④	学校改革推進事業	55	
	高校改革懇談会事業	55	
	中高一貫教育連絡協議会事業	55	
	中高一貫教育推進事業	55	
	県立高校再編整備事業	55	

特別支援教育課

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
③⑤	未来へつなぐ子育て・教育充実事業	20	21、22
	切れ目のない支援体制整備充実事業	20	22
	「個別の支援計画」の作成と活用の促進	20	
	「交流及び共同学習」の促進	20	
	視覚障がい支援講師配置	21	
	ADHD 通級指導教室講師配置	21	
③⑤	合理的配慮調査研究事業	21	21
	「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進	21	
	視覚障がいに応じた教材教具貸与事業	21	
⑤	高等学校学習支援推進事業	21	
③⑤	夢に向かってテクノチャレンジ事業	22	
⑤	特別支援学校における医療的ケア実施事業	22	
②	特別支援学校教科指導充実事業	22	
	校内研修の充実	22	
⑤	教員研修の充実	22	
	人事評価についての研修充実事業	36	
②	教職員の資質向上に向けた研修の充実	36	
	教員の服務倫理に関する研修の充実	36	
	教職員の服務倫理の確立のための取組	36	41
	学校の組織運営体制の改善	38	
②③	学校評議員による学校関係者評価の実施	40	29
②	新任校長・副校長・教頭・主幹教諭研修会	40	
⑤	特別支援学校特別支援教育就学奨励費	44	
⑤	特別支援学校整備事業	56	22
⑤	県立特別支援学校学習環境整備事業	56	22
⑤	県立特別支援学校遊具整備事業	56	22

健康教育課

主要 施策	事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
①②	学校すこやかプラン	10	12
	健康教育推進者研修会	10	
③⑤	ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト	11	12
	元気キッズサポーター事業	11	
	自分手帳活用事業	11	
	専門アドバイザー派遣事業	11	
	体力向上ムーブメント事業	11	
	ふくしまっ子体力向上プロジェクト推進事業	11	
	食習慣・肥満等の健康教育に係る専門家派遣事業	11	12
④	オリンピック・パラリンピック教育推進事業	11	47
②③	児童生徒の体力向上推進事業	12	
⑤	ふくしまから はじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業	12	
	朝食について見直そう週間運動	12	
	つながる食育推進事業	12	
	学校欠席者サーベイランス事業	12	
	福島県がん教育実践事業	12	
②③	部活動指導員配置促進事業	38	
②	新任校長・副校長・教頭・主幹教諭研修会	40	
	マニュアルに基づいた対応の徹底	42	
	市町村教育委員会等への情報提供と感染予防・拡大防止	42	
	学校安全計画の充実などによる安全体制の整備	42	
	県立学校等自動体外除細動器整備事業	43	
	学校安全教室推進事業	43	
	小・中学校における児童生徒の安全確保の促進	43	
⑤	学校給食安全・安心対策推進事業	45	
	学校給食検査体制支援事業	45	
	安心・安全のための学校給食環境整備事業	45	
	学校給食モニタリング事業	45	

総務部

事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
緊急スクールカウンセラー等派遣事業(スクールカウンセラー等派遣事業)	9	
医科大学運営費交付金	28	27
会津大学運営費交付金	28	24、27
医科大学教育・研究機器整備事業	28	
会津大学講義室機器等整備事業	28	
会津大学実習実験機器等整備事業	28	
災害こころの医学講座ほか設置事業	28	
認定こども園等の環境整備等事業(認定こども園等教育の質の向上の研修支援事業)	36	49
未来を担う子どもたちの安心就学環境支援事業	45	52
未来の子どもを守る食の安全確保事業	45	52

事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
福島県私学振興会貸付金	49	
私立学校運営費補助金(一般分)	49	52
私立小中学校少人数教育推進事業補助金	49	8、13、53
認定こども園等の環境整備等事業(幼児教育の質の向上のための緊急環境整備)	49	12
認定こども園等の環境整備等事業(認定こども園等への円滑な移行の準備支援事業)	49	
認定こども園等の環境整備等事業(園務改善のためのICT化支援事業)	50	
私立幼稚園心身障がい児教育費補助金	50	10、20
私立幼稚園教育振興事業補助金	50	
私立専修学校運営費補助	50	
私立専修学校振興助成事業補助	50	
福島県私立学校教職員退職手当資金給付事業補助	50	
私立学校教職員共済事業補助	50	
被災私立専修学校等復興支援事業補助	50	
私立学校運営費補助金(教育改革推進特別分)	51	
私立学校外国人指導助手招致事業費補助金	51	
私立学校被災児童生徒等就学支援	51	44、52
高等学校等就学支援金	51	44
私立高等学校就学支援事業	51	
私立専修学校就学支援事業	51	
私立中学校等児童生徒授業料負担軽減事業	51	
ふくしまで生活基盤を築くための私立高校生等支援事業	51	18、52
学校運営状況調査	52	
私立学校設備整備事業等補助金	52	

危機管理部

事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
そなえるふくしま防災事業	16	
家族で学ぶ防災セミナー	16	

生活環境部

事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
次世代スクールプロジェクト事業	10	
教師のための次世代育成成人権セミナー	10	
ふくしまグローバルセミナー	25	
ふくしま子ども自然環境学習推進事業	34	

文化スポーツ局

事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
震災原発の経験・教訓、復興状況伝承事業(ジャーナリストスクール開催事業)	8	
とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)の整備・充実	32	
アクアマリンふくしまの整備・充実	32	

事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
東日本大震災・原子力災害伝承館学習活動線事業	32	
東日本大震災・原子力災害伝承館の管理運営事業	32	33
県民カレッジ推進事業	33	33
ニューズレター発行	33	33
「地域のたから」民俗芸能総合支援事業	35	
アートによる新生ふくしま交流事業	35	46
声楽アンサンブルコンテスト全国大会開催事業	46	
文学賞実施事業	46	
県展開催事業	46	
2020 東京オリンピック・パラリンピック関連復興推進事業	47	
スポ・ボラレガシー化事業	47	
未来へチャレンジ！ふくしまスポーツ塾「福島の輝く未来へ！スポーツわくわくプロジェクト」	47	
スポーツふくしまライジングプロジェクト	47	
ジュニア強化指定事業	47	
ネクストアスリート支援事業	47	
トップコーチ養成事業	47	
ドリームミーティング	47	
地域連携型人材育成事業(双葉地区教育構想)	48	56
ふくしまゴルフプロジェクト「ふくしまゴルフ人材育成事業・交流拡大事業」	48	

こども未来局

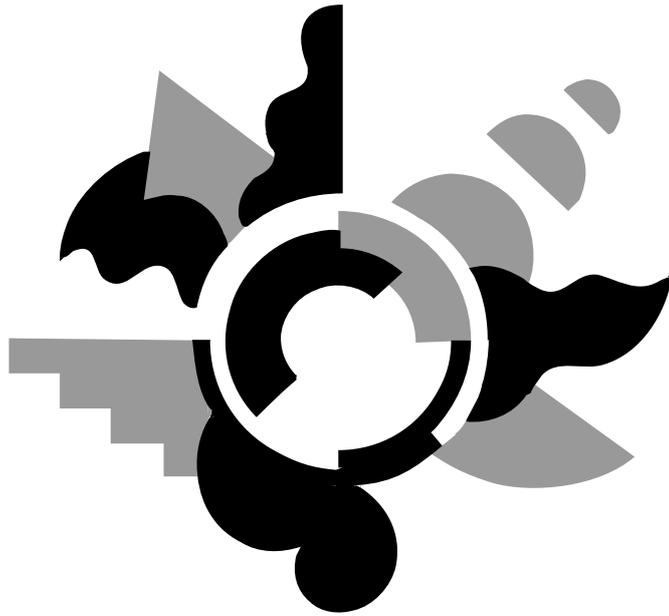
事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
こどもの夢を応援する事業	44	
母子父子寡婦福祉資金貸付金	44	

商工労働部

事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
福島イノベ構想推進産業人材育成・確保事業	20	

福島イノベーション・コースト構想推進機構

事業名称	事業内容 掲載ページ	再掲ページ
イノベーション人材確保支援事業	19	
福島イノベ構想推進産業人材育成事業	19	
福島県教育復興推進事業	54	
双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事業	54	
福島県教育復興推進事業(12市町村教育復興推進事業)	54	



**福島県教育庁
教育総務課**

〒960-8688 福島市杉妻町 2-16
TEL 024-521-7759 FAX 024-521-7969
e-mail : k.kouhou@pref.fukushima.lg.jp
ホームページアドレス : <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu>